

## 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	無期限（2007年8月10日設定）	
運用方針	<p>主として、三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド受益証券、日本債券マザーファンド受益証券、外国株式マザーファンド受益証券、三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券への投資を通じて国内株式、国内債券、外国株式、外国債券に分散投資を行うバランス型運用部分と、マネー・マーケット・マザーファンド受益証券への投資を通じてわが国の短期公社債に投資を行う安定運用部分に、それぞれ投資を行います。バランス型運用部分における各資産への配分比率は、国内株式20%程度、国内債券40%程度、外国株式20%程度、外国債券20%程度とすることを基本とします。わが国の短期金利水準の変動に応じて、バランス型運用部分と安定運用部分への配分比率を変動させるものとし、当該短期金利水準の上昇に伴い安定運用部分への配分比率を引き上げ、当該短期金利水準の低下に伴い安定運用部分への配分比率を引き下げます。なお、安定運用部分への配分比率は以下の範囲内とします。</p> <p>下限：短期金利水準が0%以下のとき、純資産総額に対して5%程度            上限：短期金利水準が4%以上のとき、純資産総額に対して80%程度</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。</p>	
主要運用対象	ベビードファンド	三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド受益証券、日本債券マザーファンド受益証券、外国株式マザーファンド受益証券、三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券およびマネー・マーケット・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、内外の株式・公社債等に直接投資することがあります。
	三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド	わが国の株式を主要投資対象とします。
	外国株式マザーファンド	外国の株式を主要投資対象とします。
	日本債券マザーファンド	わが国の公社債を主要投資対象とします。
	三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド	わが国を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
	ベビードファンド	株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以下とします。外貨建資産への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以下とします。
	三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
	外国株式マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
	日本債券マザーファンド	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド	外貨建資産への投資に制限を設けません。
	マネー・マーケット・マザーファンド	外貨建資産への投資は行いません。
	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）         </div>		

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

## 運用報告書（全体版）

# 三菱UFJ DC金利連動アロケーション型 バランスファンド

愛称：DCオートマくん

第12期（決算日：2019年7月22日）

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、お手持ちの「三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド」は、去る7月22日に第12期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**  
（受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数)		株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
	(分配落)	税 分 配	み 金 騰 落	期 騰 落	中 率					
	円	円	%		%	%	%	%	%	百万円
8期(2015年7月22日)	13,217	0	13.6	12,991	13.3	37.3	—	60.7	—	5,316
9期(2016年7月22日)	12,241	0	△ 7.4	12,212	△ 6.0	37.8	—	56.5	—	5,370
10期(2017年7月24日)	13,252	0	8.3	13,169	7.8	37.2	—	55.7	—	6,318
11期(2018年7月23日)	13,670	0	3.2	13,653	3.7	37.8	—	55.5	—	7,011
12期(2019年7月22日)	13,650	0	△ 0.1	13,612	△ 0.3	37.6	—	54.1	—	7,612

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 当ファンドの参考指数は、東証株価指数(TOPIX)20%、NOMURA-BPI総合40%、MSCI Kokuai Index(MSCIコクサイインデックス)(円換算ベース)20%およびFTSE世界国債インデックス(除く日本・円ベース)20%で組み合わせたバランス型運用部分の合成指数と、安定運用部分の無担保コール翌日物レートに弊社で算出した配分比率を乗じた合成指数です。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 )		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
	円	騰 落 率	合 成 指 数	騰 落 率				
(期 首) 2018年7月23日	13,670	—	13,653	—	37.8	—	55.5	—
7月末	13,703	0.2	13,685	0.2	37.7	—	55.5	—
8月末	13,673	0.0	13,679	0.2	37.6	—	55.3	—
9月末	13,870	1.5	13,901	1.8	37.8	—	54.9	—
10月末	13,340	△2.4	13,371	△2.1	37.2	—	55.2	—
11月末	13,449	△1.6	13,500	△1.1	37.6	—	55.4	—
12月末	12,903	△5.6	12,973	△5.0	35.0	—	56.1	—
2019年1月末	13,129	△4.0	13,251	△2.9	37.4	—	55.5	—
2月末	13,435	△1.7	13,505	△1.1	37.8	—	54.8	—
3月末	13,598	△0.5	13,555	△0.7	37.7	—	55.0	—
4月末	13,706	0.3	13,686	0.2	38.2	—	55.1	—
5月末	13,377	△2.1	13,365	△2.1	36.8	—	56.1	—
6月末	13,594	△0.6	13,571	△0.6	37.2	—	55.1	—
(期 末) 2019年7月22日	13,650	△0.1	13,612	△0.3	37.6	—	54.1	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

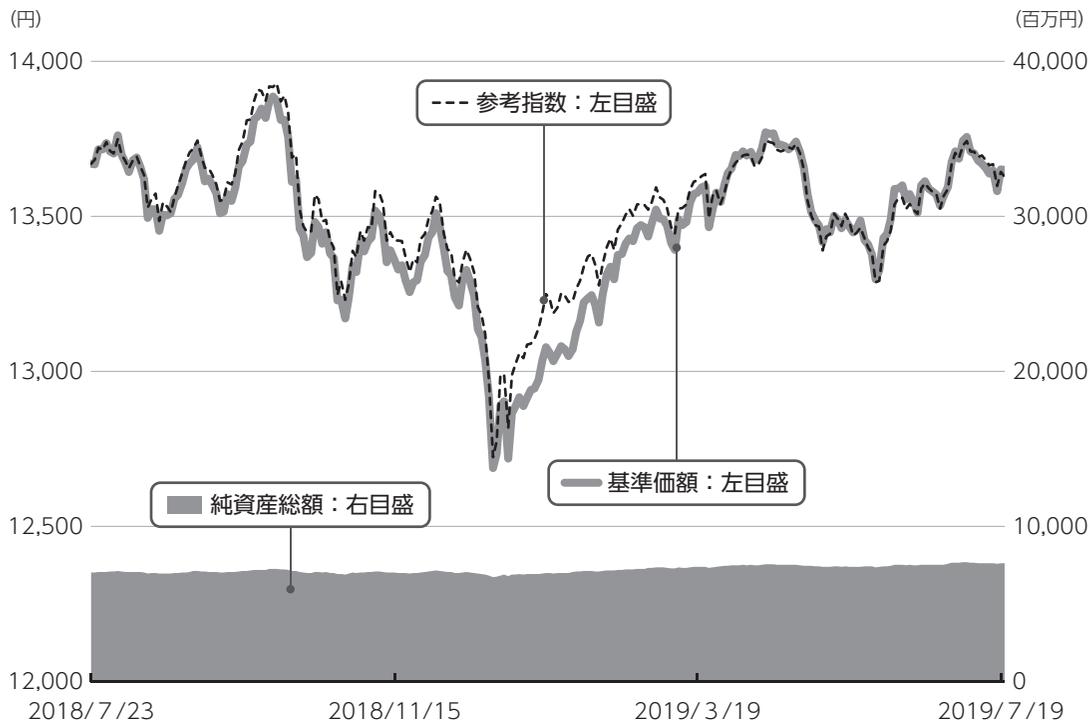
(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第12期：2018年7月24日～2019年7月22日

## 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第12期首	13,670円
第12期末	13,650円
既払分配金	0円
騰落率	-0.1%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

**基準価額の動き**

基準価額は期首に比べ0.1%の下落となりました。

**基準価額の主な変動要因****下落要因**

主として、米中貿易摩擦への懸念などを背景に、国内株式市況が下落したことが基準価額の下落要因となりました。

基準価額の主な変動要因の内訳は以下の通りです。

**内訳**

三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド	△2.0%程度
外国株式マザーファンド	0.9%程度
日本債券マザーファンド	1.2%程度
三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド	0.5%程度
マネー・マーケット・マザーファンド	0.0%程度
その他（信託報酬等）	△0.7%程度

第12期：2018年7月24日～2019年7月22日

## ▶ 投資環境について

### ▶ 国内株式市況

#### **国内株式市況は下落しました。**

期首から2018年12月下旬にかけては、米国の長短金利差が縮小し景気減速懸念が強まったことや米中関係の悪化が懸念されたことなどから、国内株式市況は下落しました。

2019年1月上旬から期末にかけては、パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長が金融引き締めを急がない姿勢を示し、利上げ観測が後退したことや米中間の通商交渉が進展するとの期待が高まったことなどから、国内企業の業績改善が期待され国内株式市況は上昇しました。

### ▶ 外国株式市況

#### **外国株式市況は上昇しました。**

外国株式市況は、期首から2018年9月までは、底堅い米国景気などを背景に上昇基調で推移しました。10月から12月にかけては米中貿易摩擦などによりグローバル経済の先行き不透明感が強まったことなどから下落しました。その後は、米国の利上げ観測が後退し、利下げ観測が高まったことなどから上昇しました。期を通じてみると上昇しました。

### ▶ 国内債券市況

#### **国内金利は低下しました。**

日銀が2018年7月末の決定会合において長期金利の変動幅拡大を許容したことを受けて、国内金利は10月上旬にかけて超長期ゾーン中心に上昇しました。その後、世界的な株価下落や景気減速懸念の高まりなどから期末にかけて国内金利は低下基調となりました。

### ▶ 外国債券市況

#### **欧米長期金利は低下しました。**

期首から2018年10月にかけて、米国と欧州で景況感の改善がみられたことなどを背景に、米独長期金利は一時上昇しました。11月以降は米連邦公開市場委員会（FOMC）メンバーの緩和的な発言などを受けて、米独長期金利は低下しました。その後も、米中貿易摩擦に対する長期化懸念や英国の欧州連合（EU）離脱への不透明感などにより、世界経済の減速懸念が高まったことなどが重石となり、米独長期金利は低下幅を広げました。結果、期を通じてみると、欧米長期金利は低下しました。

▶ **為替市況****米ドルとユーロは対円で下落しました。**

2018年12月中旬から2019年年初にかけての世界的な株式市場の下落や米中通商問題による世界経済の減速懸念などを背景に、投資家のリスクセンチメントが悪化した局面で、円が主要通貨に対して買われた結果、米ドルとユーロは対円で下落しました。

▶ **国内短期金融市場****無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移**

当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2019年7月22日のコール・レートは-0.063%となりました。

▶ **当該投資信託のポートフォリオについて**▶ **三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド**

内外の株式や債券を実質的な主要投資対象とし、わが国の短期金利水準の変動に応じて投資配分比率を変動させることにより、安定した収益の確保と着実な値上がり益の獲得をめざした運用を行いました。

主として、各マザーファンドへの投資を通じて国内株式、国内債券、外国株式、外国債券に分散投資を行うバランス型運用部分とマネー・マーケット・マザーファンドへの投資を通じてわが国の短期公社債に投資を行う安定運用部分に、それぞれ投資を行いました。

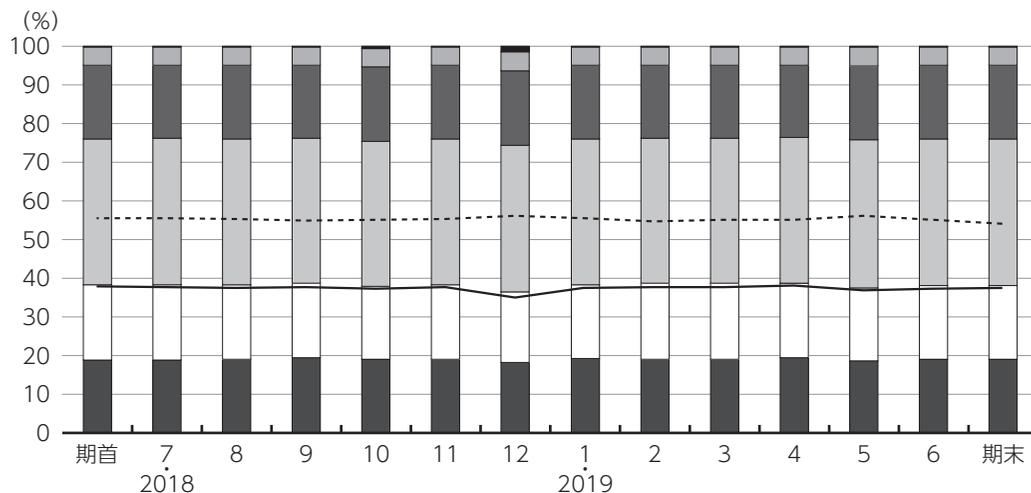
資産配分比率は、国内の短期金利水準に応じて、当期は国内短期金利が低水準であったことから安定運用部分に5%程度配分しました。残りをバランス型運用部分に配分し、その内訳は従前通り基本の配分比率としました。

バランス型運用部分における各資産への配分比率は、以下の比率とすることを基本とします。

三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド	20%程度
外国株式マザーファンド	20%程度
日本債券マザーファンド	40%程度
三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド	20%程度

(ご参考)

## ■資産別組入比率の推移 (月末ベース)



■ 三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド □ 外国株式マザーファンド ■ 日本債券マザーファンド  
 ■ 三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド ■ マネー・マーケット・マザーファンド ■ コールその他資産  
 — 株式実質 ---- 債券実質

## ▶ 三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド

個別銘柄の選別においては競争力の有無や収益向上への取り組みなどを重視し、中長期的な成長期待が持てる企業を中心に投資を行いました。

組入銘柄数は概ね79～90銘柄程度で推移させました。ファンダメンタルズの変化

や新規投資候補銘柄との相対比較などを勘案し、適宜銘柄の入れ替えを行いました。当期では、第一三共やGMOペイメントゲートウェイなど35銘柄を新規に組み入れました。また、ZOOやソニーフィナンシャルホールディングスなど35銘柄を全株売却しました。

### ▶ 外国株式マザーファンド

中長期的にベンチマークを上回る投資成果をめざして運用を行いました。

配当利回りが高いだけでなく、安定継続的に配当を維持できる銘柄や質が高く安定成長が見込まれる銘柄を中心に組み入れを行いました。外国株式の組入比率については、期を通じて高位を維持し、組入銘柄数については、期中において銘柄入替を実施したことから期首の51銘柄から期末に53銘柄としました。

銘柄入替については、今後の成長性に対する確信度が低下したと判断した銘柄などを売却し、成長性、キャッシュ創出力などが評価できる銘柄を購入しました。

### ▶ 日本債券マザーファンド

ベンチマークを上回る投資成果をめざして運用を行いました。

ファンド全体のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）については、2018年8月上旬から11月中旬にかけてはベンチマーク対比短め、その他の期間は中立を基本に調整しました。年限別構成については、デュレーションをベンチマーク対比短めとした期間は超長期ゾーンのアンダーウェイト、その他の期間は中期ゾーンのアンダーウェイト・超長期ゾーンのオーバーウェイトを基本に調整しました。

債券種別構成については、日銀による社

債買入オペや投資家の資金余剰感を背景とした需給関係から、一般債のスプレッド（国債に対する金利差）は横ばい圏で推移すると判断し、相対的にスプレッド妙味のある事業債および円建外債のオーバーウェイト、スプレッド妙味の乏しい地方債および政府保証債のアンダーウェイトを維持しました。

### ▶ 三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド

わが国を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とし、ベンチマークを中長期的に上回る投資成果をめざして運用を行いました。期を通じて債券の組入比率は高位を維持しました。

債券デュレーションについては、米国の債券デュレーションは2018年7月下旬から10月上旬にかけては、イールドカーブの平坦化を想定してベンチマーク比長めとし、10月上旬以降は同中立で維持しました。欧州の債券デュレーションは2019年2月下旬に欧州中央銀行（ECB）による緩和的な金融政策の更なる継続を見込み、同中立から長めでコントロールしました。

欧州においては、期を通じてスペインをベンチマーク比オーバーウェイトで維持、イタリアは同中立からオーバーウェイトでコントロールしました。ドイツは期首から2018年8月下旬にかけて同オーバー

ウェイトとし、その後は同中立からアンダーウェイトでコントロールした一方、ベルギーは2019年2月下旬以降同オーバーウェイトとし、7月上旬以降同中立に変更しました。フランスは、期を通じて、同アンダーウェイトで維持しました。

カントリーアロケーション戦略（通貨配分）では、景気の相対感等に着目し通貨配分をコントロールしました。米ドルは期首から2018年11月中旬にかけてベンチマーク比オーバーウェイト、12月下旬以降同アンダーウェイトとし、2019年4月下旬から5月中旬にかけて同オーバーウェイトに変更しました。ユーロは期首から2018年9月にかけては同アンダーウェイトから中立、10月以降は同中立からオーバーウェイトでコントロールし、2019年4月下旬に同アンダーウェイトに

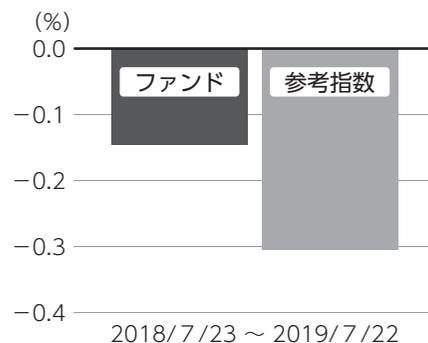
変更しました。カナダドルは期首から2018年10月下旬にかけては同中立からアンダーウェイトでコントロールし、その後は同中立からオーバーウェイトでコントロールしました。英ポンドは2018年8月上旬に同オーバーウェイトから中立とし、メキシコペソは期を通じて同オーバーウェイトから中立、南アフリカランドは期を通じて同アンダーウェイトから中立でコントロールしました。豪ドルは期を通じて同アンダーウェイトとし、ノルウェークローネは2019年4月以降同オーバーウェイトとしました。

- ▶ **マネー・マーケット・マザーファンド**  
コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保をめざした運用を行いました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。参考指数は合成指数です。

### 基準価額と参考指数の対比（騰落率）



## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第12期
	2018年7月24日～2019年7月22日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	4,959

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

### ▶ 三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド

引き続き、国内の短期金利水準に応じて、安定運用部分とバランス型運用部分の配分比率を変更する方針です。バランス型運用部分における各資産への配分比率は従前通り基本の配分比率を維持する方針です。

### ▶ 三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド

個別銘柄の選別においては、競争力の有無、収益力向上への取り組み等を重視しています。増配や自社株買い等の株主還元への姿勢も大切な投資観点と考えますが、それ以上に各企業がどのような成長戦略や収益力向上への取り組みを行っているかが重要と考えています。引き続き、マネジメント力、バリュエーション、中長期的な成長や収益力改善のためにどのような施策に取り組んでいるのかなどを精査し、競争力があり、中長期的な成長期待が持てる企業を中心に銘柄選別を行っていく方針です。

国内株式市況は、中期的には堅調に推移すると予想しています。米中通商協議は継続すると考えますが、短期的に状況が打開されるかは不透明感が否めません。一方で中国は2020年が所得倍増計画の最終年、2021年が共産党創立100周年の節

目の年になり、米国も2020年は大統領選挙が控えていることなどから、両国とも景気失速を避ける対策を実施すると考えます。また日本の内需については、賃金上昇、雇用拡大により雇用者所得が増加基調にあることに加えて、2019年9月からのラグビーワールドカップ、2020年7月からの東京五輪を控えて、訪日外国人数とインバウンド消費の拡大が期待されます。この様な背景から、2019年度の企業業績は堅調に推移すると想定し、綿密に企業業績を確認しながら銘柄選択を行っていく方針です。

### ▶ 外国株式マザーファンド

株式市況は、米中関係の影響が意識されるものの、堅調に推移すると予想しています。一方で、景気や企業業績が良好である場合でも、経済成長への不透明感などから短期的にボラティリティが高まる可能性があるともみています。

配当利回りが高いだけでなく、安定継続的に配当を維持できる銘柄や質が高く安定成長が見込まれる銘柄を中心に投資していく方針です。健全な財務体質や持続可能なビジネスモデル、積極的な配当政策などの観点から銘柄を選択し、業種、地域にとらわれることなく投資機会を最大限に活かして投資していく方針です。

### ▶ 日本債券マザーファンド

安定した利子収益確保をめざし、債券組入比率は引き続き高位を維持する方針です。

ファンド全体のデュレーションは、当面ベンチマーク対比中立を基本に機動的にリスク度合いを調整する方針です。

債券種別構成については、事業債および円建外債をベンチマーク対比多めの保有を維持する方針です。

### ▶ 三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド

金利戦略においては、各国の景気動向に加え、財政政策・金融政策を含む各種政策や市場の内部要因が長期金利へ与える影響を考慮し、デュレーションなどのコントロールを行います。その中で、欧州では各国の財政状況や政策対応などを重

視した銘柄選別に注力します。また、カンツリーアロケーション戦略においては、各国のファンダメンタルズ状況や投資家のリスク選好度を重視し、環境見通しの変化に対応して調整を行う方針です。債券の組入比率は高位を維持し、信用力の高い国債中心の組み入れを維持する方針です。

### ▶ マネー・マーケット・マザーファンド

物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローンおよびCP現先取引などへの投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2018年7月24日～2019年7月22日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	87	0.646	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(40)	(0.296)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(40)	(0.296)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 7 )	(0.054)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.024	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
( 株 式 )	( 3 )	(0.024)	
(c) 有価証券取引税	1	0.008	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株 式 )	( 1 )	(0.008)	
(d) その他費用	2	0.016	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 2 )	(0.012)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	( 1 )	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	93	0.694	

期中の平均基準価額は、13,466円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

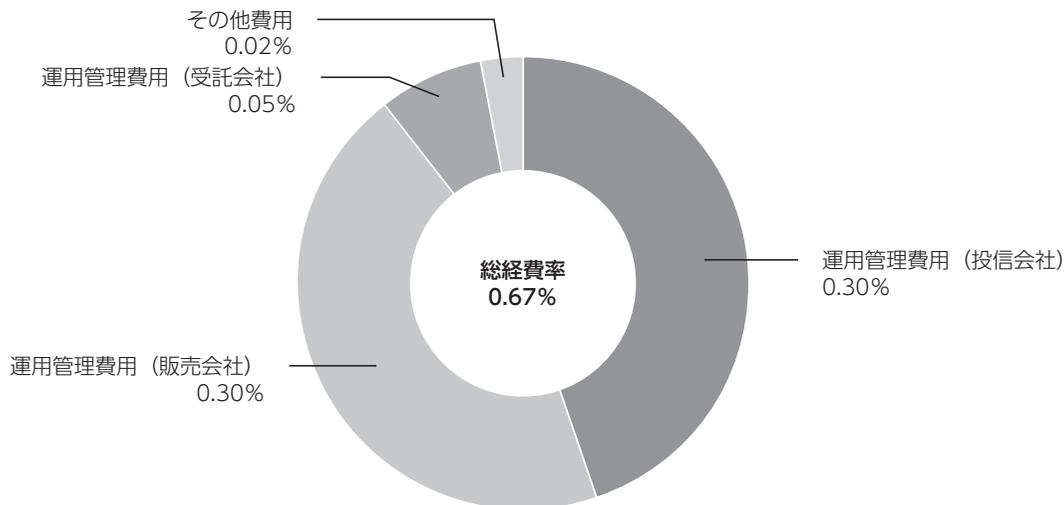
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.67%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年7月24日～2019年7月22日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド	169,105	318,564	26,842	52,360
三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド	36,023	105,131	10,962	31,813
日本債券マザーファンド	258,908	381,864	152,263	223,129
外国株式マザーファンド	57,575	128,553	42,667	103,064
マネー・マーケット・マザーファンド	40,560	41,302	11,687	11,901

## ○株式売買比率

(2018年7月24日～2019年7月22日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	三菱UFJ 日本株 アクティブマザーファンド	外国株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	50,303,508千円	4,469,266千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	33,039,829千円	8,736,517千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.52	0.51

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年7月24日～2019年7月22日)

## 利害関係人との取引状況

&lt;三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド&gt;

該当事項はございません。

&lt;三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド&gt;

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	
株式	百万円 25,441	百万円 8,150	% 32.0	百万円 24,861	百万円 5,184	% 20.9

平均保有割合 4.1%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

## &lt;三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド&gt;

区 分	買付額等			売付額等		
	A	うち利害関係人との取引状況B	$\frac{B}{A}$	C	うち利害関係人との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 19,190	百万円 2,912	% 15.2	百万円 19,666	百万円 4,401	% 22.4

平均保有割合 3.2%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

## &lt;日本債券マザーファンド&gt;

区 分	買付額等			売付額等		
	A	うち利害関係人との取引状況B	$\frac{B}{A}$	C	うち利害関係人との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 3,640	百万円 738	% 20.3	百万円 3,857	百万円 880	% 22.8

平均保有割合 33.5%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

## &lt;外国株式マザーファンド&gt;

区 分	買付額等			売付額等		
	A	うち利害関係人との取引状況B	$\frac{B}{A}$	C	うち利害関係人との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 3,322	百万円 344	% 10.4	百万円 2,991	百万円 156	% 5.2

平均保有割合 15.5%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

## &lt;マネー・マーケット・マザーファンド&gt;

該当事項はございません。

## 利害関係人の発行する有価証券等

## &lt;三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド&gt;

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 末 保 有 額
株式	百万円 262	百万円 -	百万円 713

## &lt;日本債券マザーファンド&gt;

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 末 保 有 額
公社債	百万円 200	百万円 -	百万円 404

## 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

## &lt;日本債券マザーファンド&gt;

種 類	買 付 額
公社債	百万円 900

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	1,714千円
うち利害関係人への支払額 (B)	415千円
(B) / (A)	24.2%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三菱UFJフィナンシャル・グループ、三菱UFJリース、アコム、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

## ○組入資産の明細

(2019年7月22日現在)

## 親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド	606,551		748,815	1,448,358
三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド	459,551		484,612	1,443,757
日本債券マザーファンド	1,806,935		1,913,581	2,883,958
外国株式マザーファンド	578,085		592,993	1,457,459
マネー・マーケット・マザーファンド	328,586		357,458	363,999

## ○投資信託財産の構成

(2019年7月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド	1,448,358	19.0
三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド	1,443,757	18.9
日本債券マザーファンド	2,883,958	37.8
外国株式マザーファンド	1,457,459	19.1
マネー・マーケット・マザーファンド	363,999	4.8
コール・ローン等、その他	41,472	0.4
投資信託財産総額	7,639,003	100.0

(注) 三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(42,926,964千円)の投資信託財産総額(43,120,056千円)に対する比率は99.6%です。

(注) 外国株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(9,399,867千円)の投資信託財産総額(9,608,464千円)に対する比率は97.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=107.98円	1 カナダドル=82.63円	1 メキシコペソ=5.68円	1 ユーロ=121.07円
1 イギリスポンド=135.01円	1 スイスフラン=109.79円	1 スウェーデンクローネ=11.50円	1 ノルウェークローネ=12.59円
1 デンマーククローネ=16.22円	1 ポーランドズロチ=28.47円	1 オーストラリアドル=76.01円	1 香港ドル=13.84円
1 シンガポールドル=79.33円	1 マレーシアリングgit=26.24円	1 ニュー台湾ドル=3.48円	1 インドルピー=1.58円
1 南アフリカランド=7.74円			

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年7月22日現在)

項目	当期末 円
(A) 資産	7,639,003,664
コール・ローン等	39,253,844
三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド(評価額)	1,448,358,410
三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド(評価額)	1,443,757,533
日本債券マザーファンド(評価額)	2,883,958,365
外国株式マザーファンド(評価額)	1,457,459,099
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	363,999,663
未収入金	2,216,750
(B) 負債	26,877,579
未払解約金	3,088,431
未払信託報酬	23,647,157
未払利息	76
その他未払費用	141,915
(C) 純資産総額(A-B)	7,612,126,085
元本	5,576,449,166
次期繰越損益金	2,035,676,919
(D) 受益権総口数	5,576,449,166口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,650円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 5,129,481,279円  
 期中追加設定元本額 876,083,668円  
 期中一部解約元本額 429,115,781円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.3650円です。

## ②分配金の計算過程

項目	2018年7月24日～ 2019年7月22日
費用控除後の配当等収益額	78,662,212円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円
収益調整金額	1,611,720,212円
分配準備積立金額	1,074,993,631円
当ファンドの分配対象収益額	2,765,376,055円
1万口当たり収益分配対象額	4,959円
1万口当たり分配金額	—円
収益分配金金額	—円

- ③「外国株式マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、親投資信託の純資産総額に親投資信託の受益権総口数に占める当投資信託に属する受益権口数の割合に乗じて得た額に対し年10,000分の45の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

## ○損益の状況 (2018年7月24日～2019年7月22日)

項目	当期 円
(A) 配当等収益	△ 17,724
受取利息	35
支払利息	△ 17,759
(B) 有価証券売買損益	54,687,505
売買益	201,383,947
売買損	△ 146,696,442
(C) 信託報酬等	△ 46,860,540
(D) 当期損益金(A+B+C)	7,809,241
(E) 前期繰越損益金	1,074,993,631
(F) 追加信託差損益金	952,874,047
(配当等相当額)	( 1,610,450,816)
(売買損益相当額)	(△ 657,576,769)
(G) 計(D+E+F)	2,035,676,919
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	2,035,676,919
追加信託差損益金	952,874,047
(配当等相当額)	( 1,611,720,212)
(売買損益相当額)	(△ 658,846,165)
分配準備積立金	1,153,655,843
繰越損益金	△ 70,852,971

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## 三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド

### 《第18期》決算日2019年6月20日

[計算期間：2018年6月21日～2019年6月20日]

「三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド」は、6月20日に第18期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第18期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	<p>わが国の株式を主要投資対象とし、長期的に安定した信託財産の成長をはかることを目標として運用を行います。ボトムアップ・アプローチを基本としたアクティブ運用により長期的にわが国の株式市場全体(TOPIX)の動きを上回る運用成果をめざします。株式への投資にあたっては、運用チームによる会社訪問も含め、自ら徹底的に企業分析を行います。</p> <p>銘柄選定は、主に以下の観点で行います。</p> <p>①オーナーの持ち分としての株主価値の見極め。</p> <p>②株主価値を分析する尺度としては、主に企業が事業から継続してキャッシュを生み出す能力を評価。</p> <p>③株主価値と株価との関係がバーゲン(株主価値&gt;株価)と判断される銘柄に投資。</p>
主 要 運 用 対 象	わが国の株式を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	<p>株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への投資割合には制限を設けません。</p> <p>外貨建資産への投資は行いません。</p>

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		東 証 株 価 指 数		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	(TOPIX)	期 騰 落 中 率			
	円	%		%	%	%	百万円
14期(2015年6月22日)	18,316	32.6	1,648.61	29.9	98.6	—	41,477
15期(2016年6月20日)	14,735	△19.6	1,279.19	△22.4	98.5	—	31,732
16期(2017年6月20日)	18,525	25.7	1,617.25	26.4	98.1	—	34,818
17期(2018年6月20日)	22,019	18.9	1,752.75	8.4	98.1	—	36,701
18期(2019年6月20日)	19,301	△12.3	1,559.90	△11.0	98.4	—	32,406

(注) 東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの指数値及びそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 価 額		東 証 株 価 指 数 (TOPIX)		株 組 入 比 率 %	株 先 物 比 率 %
	円	騰 落 率 %	(TOPIX)	騰 落 率 %		
(期 首) 2018年6月20日	22,019	—	1,752.75	—	98.1	—
6月末	21,887	△ 0.6	1,730.89	△ 1.2	98.2	—
7月末	21,957	△ 0.3	1,753.29	0.0	98.2	—
8月末	21,801	△ 1.0	1,735.35	△ 1.0	98.2	—
9月末	22,806	3.6	1,817.25	3.7	98.0	—
10月末	19,878	△ 9.7	1,646.12	△ 6.1	98.4	—
11月末	19,934	△ 9.5	1,667.45	△ 4.9	98.4	—
12月末	17,399	△21.0	1,494.09	△14.8	97.0	—
2019年1月末	18,380	△16.5	1,567.49	△10.6	98.2	—
2月末	19,069	△13.4	1,607.66	△ 8.3	98.4	—
3月末	19,348	△12.1	1,591.64	△ 9.2	98.1	—
4月末	20,100	△ 8.7	1,617.93	△ 7.7	98.1	—
5月末	18,492	△16.0	1,512.28	△13.7	98.2	—
(期 末) 2019年6月20日	19,301	△12.3	1,559.90	△11.0	98.4	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

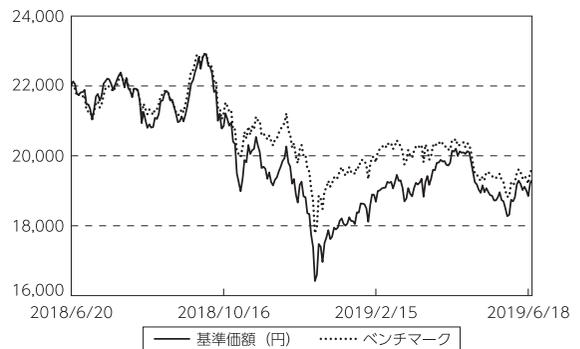
## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ12.3%の下落となりました。

## ◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(－11.0%)を1.3%下回りました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ●投資環境について

## ◎国内株式市況

- ・期首から2018年9月下旬にかけては、米中貿易摩擦の深刻化などが懸念されたものの、自民党総裁選における安倍首相の再選期待や為替が円安・米ドル高に推移したことなどから国内株式市況は強含んで推移しました。
- ・10月上旬から12月下旬にかけては、米国の長短金利差が縮小し景気減速懸念が強まったことや米中関係の悪化が懸念されたことなどに加えて、マティス米国防長官の辞意表明や予算失効に伴う米政府機関の一部閉鎖など、米国の政治不安が拡大したことなどをを受けて、国内株式市況は下落しました。
- ・2019年1月上旬から4月中旬にかけては、パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長が金融引き締めを急がない姿勢を示し、利上げ観測が後退したことや米中間の通商交渉が進展するとの期待が高まったことなどから、国内企業の業績改善が期待され国内株式市況は上昇しました。
- ・4月下旬から期末にかけては、一時は楽観視されていた米中通商交渉において再度先行き不透明感が台頭し、米中貿易問題が深刻化すれば日本企業の業績不安が高まることなどから、国内株式市況は軟調に推移しました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・個別銘柄の選別においては競争力の有無や収益向上への取り組みなどを重視し、中長期的な成長期待が持てる企業を中心に投資を行いました。
- ・組入銘柄数は概ね79～90銘柄程度で推移させました。ファンダメンタルズの変化や新規投資候補銘柄との相对比较などを勘案し、適宜銘柄の入れ替えを行いました。がん領域をはじめとした新薬の開発が期待される「第一三共」、炭素繊維やバッテリーセパレータなどの成長製品で強みを有する「東レ」などを新規に組み入れた一方、バリュエーション、業績動向などを勘案し、「ZOZO」、「SUMCO」を全株売却するなど銘柄の入れ替えを行いました。期首、期末の比

較では、35銘柄程度を新規に買い付け、34銘柄程度を全株売却しました。

## ●当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当期の運用成果は個別銘柄選択の結果として精密機器や情報・通信業をベンチマーク比概ねオーバーウェイトとしていたことなどがプラスに寄与し、業種配分効果はプラスとなりました。銘柄選択効果はZOZOや三井金属鉱業などがマイナスに影響し、トータルでベンチマークを下回りました。パフォーマンスに寄与、影響した銘柄は以下の通りです。

## （プラス要因）

## ◎銘柄

- ・第一三共：がん領域をはじめとした新薬の開発に期待し期中よりベンチマーク比オーバーウェイト。がん領域のグローバル事業に豊富な経験とリソースを持つアストラゼネカ社と戦略的提携を締結したことなどが好感され、株価は上昇しプラスに寄与しました。
- ・日本ユニシス：企業のソフトウェア関連投資の拡大に加え、同社の収益性改善などによる業績拡大を期待して期首からベンチマーク比オーバーウェイト。各種デジタルトランスフォーメーション関連の投資拡大の恩恵などを受けた着実な業績拡大により株価は上昇し、プラスに寄与しました。

## （マイナス要因）

## ◎銘柄

- ・ZOZO：ファッション通販サイト「ZOZOTOWN」の成長を期待し、期首よりベンチマーク比オーバーウェイト。センサー内蔵ボディースーツ「ZOZOSUIT」への期待が集まるなか、大量受注により配送時期が大幅に遅延したことを背景に、株価が下落しマイナスの影響となりました。なお、期中に全株売却しました。
- ・三井金属鉱業：キャリア付極薄電解銅箔「MicroThin」の主にスマートフォン向け需要の

拡大に期待し、期首よりベンチマーク比オーバーウェイト。スマートフォン向け需要が低調に推移したことで銅箔事業や機能粉事業の販売量が減少し会社側が業績の下方修正したことなどを背景に株価が下落し、マイナスに影響しました。

## ○今後の運用方針

### ◎運用環境の見通し

- ・当面の国内株式市況は一進一退の展開を余儀なくされる可能性はありますが、中長期的には堅調に推移すると予想しています。米国が対中制裁関税を引き上げたことで、世界経済への不透明感が再び高まっています。今後も米中通商協議は継続すると考えますが、短期的に状況が打開されるかは不透明感が否めません。一方で中国は2020年が所得倍増計画の最終年、2021年が共産党創立100周年の節目の年になり、米国も2020年は大統領選挙が控えていることなどから、両国とも景気失速を避ける対策を実施すると考えます。また日本の内需については、賃金上昇、

雇用拡大により雇用者所得が増加基調にあることに加えて、2019年9月からのラグビーワールドカップ、2020年7月からの東京五輪を控えて、訪日外国人数とインバウンド消費の拡大が期待されます。また、2019年10月には消費税増税が予定されていますが、同時に景気対策が実施されると思われることから、景気、株式市況を下支えするものと考えます。

### ◎今後の運用方針

- ・個別銘柄の選別においては、競争力の有無、収益力向上への取り組み等を重視しています。増配や自社株買い等の株主還元への姿勢も大切な投資観点と考えますが、それ以上に各企業がどのような成長戦略や収益力向上への取り組みを行っているかが重要と考えています。引き続き、マネジメント力、バリュエーション、中長期的な成長や収益力改善のためにどのような施策に取り組んでいるのかなどを精査し、競争力があり、中長期的な成長期待が持てる企業を中心に銘柄選別を行っていく方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2018年6月21日～2019年6月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 23 (23)	% 0.116 (0.116)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	0 ( 0 )	0.000 (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	23	0.116	
期中の平均基準価額は、19,969円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年6月21日～2019年6月20日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国	上場	千株	千円	千株	千円
内		10,975 (△ 874)	26,827,132 ( )	11,860	25,786,151

(注) 金額は受渡代金。

(注) ( )内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2018年6月21日～2019年6月20日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	52,613,284千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	33,421,492千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.57

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年6月21日～2019年6月20日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %

## 利害関係人の発行する有価証券等

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 末 保 有 額
株式	百万円 262	百万円 —	百万円 689

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	39,250千円
うち利害関係人への支払額 (B)	9,763千円
(B) / (A)	24.9%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三菱UFJフィナンシャル・グループ、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

## ○組入資産の明細

(2019年6月20日現在)

## 国内株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
<b>建設業 (2.7%)</b>			
大成建設	—	28.3	114,049
熊谷組	117.8	145.6	452,816
五洋建設	937	541.4	280,445
千代田化工建設	355.2	—	—
<b>食料品 (2.1%)</b>			
ヤクルト本社	—	40.8	264,384
アサヒグループホールディングス	64.8	—	—
ニチレイ	—	156.1	414,133
<b>繊維製品 (1.8%)</b>			
東レ	—	685.8	555,909
<b>パルプ・紙 (—%)</b>			
王子ホールディングス	491	—	—
<b>化学 (9.9%)</b>			
昭和電工	127.6	84.9	267,859
信越化学工業	—	32.2	303,968
東京応化工業	130.5	107	361,660
宇部興産	108	129.5	281,662
トリケミカル研究所	44.2	69.3	316,701
資生堂	88.3	125.5	1,095,489
ファンケル	—	173.6	518,890
ポーラ・オルビスホールディングス	76.5	—	—
<b>医薬品 (6.5%)</b>			
日本新薬	50	43.3	344,235
エーザイ	—	26	167,388
JCRファーマ	61.8	51.3	337,554
第一三共	—	204.4	1,234,371
ペプチドリーム	82	—	—
<b>石油・石炭製品 (—%)</b>			
JXTGホールディングス	496.5	—	—
<b>ガラス・土石製品 (0.1%)</b>			
東海カーボン	355.2	28.9	31,905
<b>非鉄金属 (1.4%)</b>			
三井金属鉱業	112.8	61.6	156,772
住友金属鉱山	—	97.1	302,466

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
古河電気工業	76.5	—	—
フジクラ	235.5	—	—
<b>金属製品 (—%)</b>			
SUMCO	269.8	—	—
<b>機械 (4.1%)</b>			
日本製鋼所	98.1	—	—
ツガミ	—	327.5	293,112
FUJ I	—	100.7	128,593
日特エンジニアリング	50	50	142,550
SMC	8.3	—	—
小松製作所	289.5	26.5	67,217
クボタ	—	182	326,599
ダイフク	—	60.8	360,544
日本トムソン	185.4	—	—
<b>電気機器 (16.4%)</b>			
日立製作所	637	176.4	700,308
安川電機	—	133.8	458,265
日本電産	55	33.7	483,426
エレコム	—	92.1	325,573
アンリツ	230.6	166.3	312,976
ソニー	72.6	—	—
TDK	37.3	18.6	146,568
横河電機	147.2	159.7	338,244
アドバンテスト	—	50	136,350
キーエンス	10.9	9.6	615,168
シスメックス	19.6	—	—
ローム	59.9	27	188,730
新光電気工業	—	307.6	284,837
太陽誘電	169	96.6	183,346
村田製作所	—	60.8	291,171
日本ケミコン	20	—	—
KOA	134.5	—	—
小糸製作所	24.5	49.6	272,304
SCREENホールディングス	35.4	—	—
東京エレクトロン	35.3	32.6	483,947

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
<b>輸送用機器 (9.5%)</b>			
デンソー	31.4	58.7	262,565
いすゞ自動車	—	93.5	115,098
トヨタ自動車	201.2	195.2	1,315,648
アイシン精機	58.9	70	251,300
スズキ	148.2	119.7	618,011
ヤマハ発動機	54	—	—
豊田合成	—	132.2	264,928
シマノ	—	11.6	191,980
<b>精密機器 (5.1%)</b>			
テルモ	67.7	106.6	348,475
島津製作所	—	109.5	310,761
HOYA	—	46.3	375,168
朝日インテック	139	115	595,700
ニプロ	117.7	—	—
<b>その他製品 (2.2%)</b>			
ヤマハ	—	62.4	321,360
ビジョン	76.5	—	—
任天堂	17.5	10.1	389,456
<b>陸運業 (5.3%)</b>			
東海旅客鉄道	—	11.7	263,425
セイノーホールディングス	176.6	194.4	277,992
日立物流	136.4	103	351,230
丸和運輸機関	44.2	89.6	444,416
SGホールディングス	—	111.6	349,866
<b>空運業 (0.4%)</b>			
日本航空	—	35	122,115
<b>情報・通信業 (11.9%)</b>			
T I S	—	82.3	456,765
アイスタイル	146.2	—	—
GMOペイメントゲートウェイ	—	56.9	405,128
ヤフー	—	1,116.5	356,163
日本ユニシス	215.9	166.7	639,294
KDDI	—	188.2	526,489
スクウェア・エニックス・ホールディングス	35.1	74.6	258,489
ソフトバンクグループ	124.6	108.2	1,137,723

銘柄	期首(前期末)	当 期 末		
	株 数	株 数	評 価 額	
	千株	千株	千円	
<b>卸売業 (2.9%)</b>				
三菱商事	181.5	322.5	931,057	
<b>小売業 (3.4%)</b>				
Z O Z O	204.1	—	—	
パン・パシフィック・インターナショナルホ	—	39.7	275,121	
日本瓦斯	61.8	—	—	
丸井グループ	—	135.3	307,266	
ニトリホールディングス	11.7	—	—	
ファーストリテイリング	15	7.4	499,500	
<b>銀行業 (4.8%)</b>				
三菱UFJフィナンシャル・グループ	950.5	1,359.1	689,471	
三井住友フィナンシャルグループ	196.2	158.5	598,337	
ふくおかフィナンシャルグループ	559	128.7	250,192	
<b>証券・商品先物取引業 (0.9%)</b>				
S B I ホールディングス	—	109.1	299,370	
<b>保険業 (2.5%)</b>				
ソニーフィナンシャルホールディングス	278.7	—	—	
第一生命ホールディングス	94.2	199.2	323,301	
東京海上ホールディングス	107.9	88.2	485,188	
T & Dホールディングス	196.2	—	—	
<b>その他金融業 (—%)</b>				
アイフル	1,066	—	—	
オリックス	236.5	—	—	
イー・ギャランティ	92.2	—	—	
<b>不動産業 (2.4%)</b>				
パーク24	122.7	122.7	304,909	
三井不動産	—	171.1	461,970	
東京建物	334.6	—	—	
<b>サービス業 (3.7%)</b>				
エムスリー	134.4	300.2	613,608	
アウトソーシング	264	448.3	572,479	
電通	69.7	—	—	
イオンファンタジー	36.3	—	—	
サイバーエージェント	30.4	—	—	
D. A. コンソーシアムホールディングス	178.6	—	—	
合 計	株数・金額	13,814	12,054	31,903,817
	銘柄数<比率>	80	81	<98.4%>

(注) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2019年6月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 31,903,817	% 98.4
コール・ローン等、その他	502,562	1.6
投資信託財産総額	32,406,379	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年6月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	32,406,379,183
コール・ローン等	281,955,453
株式(評価額)	31,903,817,960
未収配当金	220,605,770
(B) 負債	6,268
未払解約金	5,680
未払利息	588
(C) 純資産総額(A-B)	32,406,372,915
元本	16,790,304,024
次期繰越損益金	15,616,068,891
(D) 受益権総口数	16,790,304,024口
1万口当たり基準価額(C/D)	19,301円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 16,668,347,974円  
 期中追加設定元本額 1,738,583,579円  
 期中一部解約元本額 1,616,627,529円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.9301円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ 日本株アクティブオープン(確定拠出年金)	9,149,851,133円
三菱UFJ 日本株アクティブオープン	3,846,897,125円
三菱UFJ バランスインカムオープン(毎月決算型)	2,768,735,899円
三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	748,804,340円
三菱UFJ 日本株アクティブファンドVA(適格機関投資家限定)	276,015,527円
合計	16,790,304,024円

## ○損益の状況 (2018年6月21日～2019年6月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	625,282,919
受取配当金	625,384,190
受取利息	756
その他収益金	201,506
支払利息	△ 303,533
(B) 有価証券売買損益	△ 5,128,871,034
売買益	2,614,184,936
売買損	△ 7,743,055,970
(C) 保管費用等	△ 6,296
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 4,503,594,411
(E) 前期繰越損益金	20,033,419,494
(F) 追加信託差損益金	1,705,761,782
(G) 解約差損益金	△ 1,619,517,974
(H) 計(D+E+F+G)	15,616,068,891
次期繰越損益金(H)	15,616,068,891

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## 外国株式マザーファンド

### 《第21期》決算日2019年7月22日

〔計算期間：2018年7月24日～2019年7月22日〕

「外国株式マザーファンド」は、7月22日に第21期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第21期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	日本を除く世界主要国の株式を主要投資対象とし、中長期的に信託財産の成長を目標として運用を行います。運用にあたってはMSCI Kokusai Index (MSCIコクサイインデックス) (円換算ベース) をベンチマークとし、中長期的に同指数を上回る投資成果をめざします。株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。運用指図に関する権限は、ブラックロック・インベストメント・マネジメント (UK) リミテッドに委託します。
主 要 運 用 対 象	外国の株式を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		MSCI Kokusai Index (MSCIコクサイインデックス)		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	純 資 産 額
	円	騰 落 中 率 %	(円換算ベース)	騰 落 中 率 %			
17期(2015年7月22日)	24,734	26.6	221,038.68	24.0	97.5	—	百万円 7,739
18期(2016年7月22日)	18,734	△24.3	181,837.90	△17.7	95.9	—	6,446
19期(2017年7月24日)	23,301	24.4	219,103.54	20.5	96.9	—	8,027
20期(2018年7月23日)	23,603	1.3	239,975.41	9.5	98.8	—	8,702
21期(2019年7月22日)	24,578	4.1	241,418.44	0.6	98.4	—	9,492

(注) MSCI Kokusai Index (MSCIコクサイインデックス) とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCI Kokusai Index (円換算ベース) は、MSCI Kokusai Index (米ドルベース) をもとに委託会社が計算したものです。また、MSCI Kokusai Indexに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		M S C I K o k u s a i I n d e x (M S C I コ ク サ イ イ ン デ ッ ク ス) (円換算ベース)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2018年 7 月 23 日	円	%		%	%	%
	23,603	—	239,975.41	—	98.8	—
7 月 末	23,872	1.1	240,824.32	0.4	98.8	—
8 月 末	24,077	2.0	245,379.63	2.3	98.1	—
9 月 末	24,582	4.1	251,419.68	4.8	97.4	—
10 月 末	23,354	△1.1	228,993.82	△ 4.6	97.9	—
11 月 末	23,972	1.6	233,671.49	△ 2.6	98.2	—
12 月 末	21,730	△7.9	208,910.88	△12.9	94.6	—
2019年 1 月 末	22,460	△4.8	222,066.25	△ 7.5	96.8	—
2 月 末	23,973	1.6	235,305.61	△ 1.9	96.7	—
3 月 末	24,516	3.9	236,365.97	△ 1.5	97.2	—
4 月 末	24,841	5.2	246,512.37	2.7	98.6	—
5 月 末	23,647	0.2	229,852.41	△ 4.2	98.5	—
6 月 末	24,193	2.5	237,784.42	△ 0.9	97.6	—
(期 末) 2019年 7 月 22 日	24,578	4.1	241,418.44	0.6	98.4	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### ●当期中の基準価額等の推移について

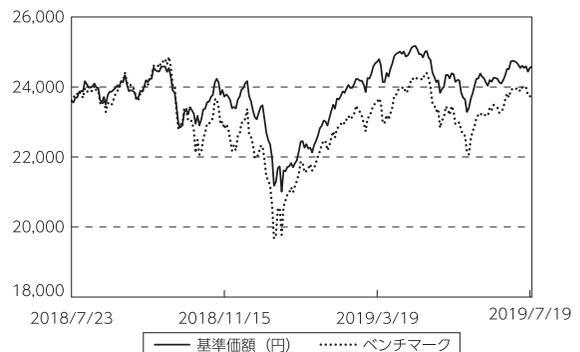
#### ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ4.1%の上昇となりました。

#### ◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(0.6%)を3.5%上回りました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

● 基準価額の主な変動要因

- ・ 保有する銘柄の株価が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

● 投資環境について

◎ 外国株式市況

- 外国株式市況は上昇しました。
- ・ 外国株式市況は、期首から2018年9月までは、底堅い米国景気などを背景に上昇基調で推移しました。10月から12月にかけては米中貿易摩擦などによりグローバル経済の先行き不透明感が強まったことなどから下落しました。その後は、米国の利上げ観測が後退し、利下げ観測が高まったことなどから上昇しました。期を通じてみると上昇しました。

◎ 為替市況

- 米ドル、ユーロは円に対して下落しました。
- ・ 期首に比べ対米ドルで2.7%の円高・米ドル安、対ユーロで7.1%の円高・ユーロ安となりました。

● 当該投資信託のポートフォリオについて

- ・ 配当利回りが高いだけでなく、安定継続的に配当を維持できる銘柄や質が高く安定成長が見込まれる銘柄を中心に組み入れを行いました。外国株式の組入比率については、期を通じて高位を維持し、組入銘柄数については、期中において銘柄入替を実施したことから期首の51銘柄から期末に53銘柄としました。
- ・ 銘柄入替については、今後の成長性に対する確信度が低下したと判断した銘柄などを売却し、成長性、キャッシュ創出力などが評価できる銘柄を購入しました。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・ 個別銘柄選択や業種配分などがプラスに寄与しベンチマークを上回りました。

(プラス要因)

◎ 銘柄

- ・ CISCO SYSTEMS INC (アメリカ：テクノロジー・ハードウェアおよび機器)：決算内容が市場予想を上回ったことに加え、業績見通しが堅調であったことなどから株価が上昇しました。

◎ 業種

- ・ エネルギー：期を通じて非保有。同業種は他業種と比べ相対的に軟調であったため、同業種を非保有としたことがプラスに寄与しました。

○ 今後の運用方針

- ・ 株式市況は、米中関係の影響が意識されるものの、堅調に推移すると予想しています。一方で、景気や企業業績が良好である場合でも、経済成長への不透明感などから短期的にボラティリティが高まる可能性があるかとみています。
- ・ 配当利回りが高いだけでなく、安定継続的に配当を維持できる銘柄や質が高く安定成長が見込まれる銘柄を中心に投資していく方針です。健全な財務体質や持続可能なビジネスモデル、積極的な配当政策などの観点から銘柄を選択し、業種、地域にとらわれることなく投資機会を最大限に活かして投資していく方針です。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年7月24日～2019年7月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 3 ( 3 )	% 0.013 (0.013)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	9 ( 9 )	0.040 (0.040)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	10 (10) ( 0 )	0.041 (0.041) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	22	0.094	
期中の平均基準価額は、23,798円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。



## ○株式売買比率

(2018年7月24日～2019年7月22日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	4,469,266千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	8,736,517千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.51

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年7月24日～2019年7月22日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 3,322	百万円 344	% 10.4	百万円 2,991	百万円 156	% 5.2

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

## ○組入資産の明細

(2019年7月22日現在)

## 外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
COCA-COLA CO/THE	542	453	2,330	251,623	食品・飲料・タバコ	
GENUINE PARTS CO	231	256	2,437	263,238	小売	
HOME DEPOT INC	—	42	903	97,583	小売	
HASBRO INC	—	100	1,078	116,472	耐久消費財・アパレル	
INTERNATIONAL PAPER CO	307	544	2,352	254,005	素材	
JOHNSON & JOHNSON	232	188	2,458	265,503	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
MEDTRONIC PLC	114	185	1,867	201,676	ヘルスケア機器・サービス	
3M CO	69	69	1,203	129,965	資本財	
M & T BANK CORP	67	77	1,258	135,945	銀行	
PEPSICO INC	169	99	1,292	139,515	食品・飲料・タバコ	
ALTRIA GROUP INC	438	432	2,186	236,096	食品・飲料・タバコ	
PROCTER & GAMBLE CO/THE	195	137	1,578	170,460	家庭用品・パーソナル用品	
PFIZER INC	433	516	2,210	238,743	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
TEXAS INSTRUMENTS INC	—	115	1,349	145,761	半導体・半導体製造装置	
UNITED TECHNOLOGIES CORP	121	127	1,685	182,024	資本財	
US BANCORP	224	243	1,338	144,505	銀行	
UNITED PARCEL SERVICE-CL B	80	—	—	—	運輸	
WELLS FARGO & CO	205	276	1,270	137,190	銀行	
CISCO SYSTEMS INC	531	447	2,564	276,915	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
MICROSOFT CORP	78	65	894	96,553	ソフトウェア・サービス	
PAYCHEX INC	110	146	1,236	133,519	ソフトウェア・サービス	
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	207	345	3,065	331,035	食品・飲料・タバコ	
ABBVIE INC	106	257	1,767	190,818	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
CITIZENS FINANCIAL GROUP	149	195	719	77,660	銀行	
TELUS CORP	702	748	2,764	298,498	電気通信サービス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	5,322 22	6,071 24	41,816 —	4,515,314 <47.6%>	
(カナダ)			千カナダドル			
ROGERS COMMUNICATIONS INC-B	475	475	3,306	273,210	電気通信サービス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	475 1	475 1	3,306 —	273,210 <2.9%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
DEUTSCHE POST AG-REG	700	684	2,019	244,517	運輸	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	700 1	684 1	2,019 —	244,517 <2.6%>	
(ユーロ…フランス)						
SANOFI	249	168	1,258	152,377	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
SCHNEIDER ELECTRIC SE	118	172	1,319	159,755	資本財	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	368 2	341 2	2,578 —	312,133 <3.3%>	
(ユーロ…オランダ)						
UNILEVER NV	—	336	1,811	219,339	家庭用品・パーソナル用品	
HEINEKEN NV	91	104	1,049	127,117	食品・飲料・タバコ	
KONINKLIJKE PHILIPS NV	228	371	1,447	175,293	ヘルスケア機器・サービス	

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等	
		株数	評 価 額		
		外貨建金額	邦貨換算金額		
(ユーロ…オランダ) UNILEVER NV-CVA	百株 409	百株 —	千ユーロ —	千円 —	家庭用品・パーソナル用品
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	730 3	813 3	4,309 —	521,749 <5.5%>
(ユーロ…ベルギー) BPOST SA ANHEUSER-BUSCH INBEV SA/NV	328 53	— —	— —	— —	運輸 食品・飲料・タバコ
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	381 2	— —	— —	— <—%>
(ユーロ…フィンランド) KONE OYJ-B	454	234	1,209	146,474	資本財
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	454 1	234 1	1,209 —	146,474 <1.5%>
(ユーロ…イギリス) RELX PLC	—	371	802	97,171	商業・専門サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	371 1	802 —	97,171 <1.0%>
ユ ー ロ 計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,635 9	2,445 8	10,919 —	1,322,046 <13.9%>
(イギリス) ASTRAZENECA PLC DIAGEO PLC BAE SYSTEMS PLC BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC IMPERIAL BRANDS PLC GLAXOSMITHKLINE PLC	223 380 — 406 572 867	142 308 2,959 663 939 1,141	910 1,044 1,548 2,052 2,015 1,879	122,893 141,033 209,045 277,147 272,046 253,757	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス 食品・飲料・タバコ 資本財 食品・飲料・タバコ 食品・飲料・タバコ 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,451 5	6,154 6	9,450 —	1,275,924 <13.4%>
(スイス) NESTLE SA-REG CIE FINANCIERE RICHEMONT-REG NOVARTIS AG-REG SGS SA-REG	282 — 318 2	215 91 238 3	2,211 784 2,213 796	242,827 86,138 243,059 87,435	食品・飲料・タバコ 耐久消費財・アパレル 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス 商業・専門サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	604 3	549 4	6,006 —	659,461 <6.9%>
(スウェーデン) SVENSKA HANDELSBANKEN-A SHS	1,027	1,335	12,360	142,142	銀行
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,027 1	1,335 1	12,360 —	142,142 <1.5%>
(デンマーク) NOVO NORDISK A/S-B	180	275	8,792	142,621	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	180 1	275 1	8,792 —	142,621 <1.5%>
(オーストラリア) AMCOR LIMITED SONIC HEALTHCARE LTD ANSELL LTD AMCOR PLC-CDI	1,992 556 410 —	— 687 478 2,075	— 1,917 1,291 3,304	— 145,778 98,183 251,164	素材 ヘルスケア機器・サービス ヘルスケア機器・サービス 素材
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,959 3	3,241 3	6,513 —	495,126 <5.2%>

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等
		株数	評 価 額	
		株数	外貨建金額	邦貨換算金額
(香港)	百株	百株	千香港ドル	千円
ANTA SPORTS PRODUCTS LTD	1,580	950	5,343	73,957
小 計	株数・金額	1,580	5,343	73,957
	銘柄数<比率>	1	1	<0.8%>
(シンガポール)			千シンガポールドル	
DBS GROUP HOLDINGS LTD	526	651	1,732	137,475
UNITED OVERSEAS BANK LTD	497	597	1,608	127,587
小 計	株数・金額	1,023	1,248	3,341
	銘柄数<比率>	2	2	<2.8%>
(台湾)			千ニュー台湾ドル	
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	1,930	1,130	29,267	101,849
FAR EASTONE TELECOMM CO LTD	2,330	—	—	—
小 計	株数・金額	4,260	1,130	29,267
	銘柄数<比率>	2	1	<1.1%>
(インド)			千インドルピー	
HERO MOTOCORP LTD	144	186	44,446	70,225
小 計	株数・金額	144	186	44,446
	銘柄数<比率>	1	1	<0.7%>
合 計	株数・金額	22,663	24,063	9,336,943
	銘柄数<比率>	51	53	<98.4%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2019年7月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 9,336,943	% 97.2
コール・ローン等、その他	271,521	2.8
投資信託財産総額	9,608,464	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (9,399,867千円) の投資信託財産総額 (9,608,464千円) に対する比率は97.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=107.98円	1 カナダドル=82.63円	1 ユーロ=121.07円	1 イギリスポンド=135.01円
1 スイスフラン=109.79円	1 スウェーデンクローネ=11.50円	1 デンマーククローネ=16.22円	1 オーストラリアドル=76.01円
1 香港ドル=13.84円	1 シンガポールドル=79.33円	1 ニュー台湾ドル=3.48円	1 インドルピー=1.58円

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年7月22日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	9,760,907,880	
コール・ローン等	151,199,820	
株式(評価額)	9,336,943,021	
未収入金	259,690,657	
未収配当金	13,074,382	
(B) 負債	268,489,220	
未払金	266,896,450	
未払解約金	1,592,381	
未払利息	184	
その他未払費用	205	
(C) 純資産総額(A-B)	9,492,418,660	
元本	3,862,229,167	
次期繰越損益金	5,630,189,493	
(D) 受益権総口数	3,862,229,167口	
1万口当たり基準価額(C/D)	24,578円	

<注記事項>

- ①期首元本額 3,687,155,912円  
 期中追加設定元本額 340,528,193円  
 期中一部解約元本額 165,454,938円  
 また、1口当たり純資産額は、期末24,578円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ <DC>海外株式オープン	3,050,457,220円
三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	592,993,368円
三菱UFJ グローバルバランス(積極型)	75,341,010円
三菱UFJ グローバルバランス(安定型)	48,860,306円
三菱UFJ <DC>グローバルバランス 60型	46,504,431円
三菱UFJ <DC>グローバルバランス 40型	32,693,544円
三菱UFJ <DC>グローバルバランス 20型	10,374,856円
三菱UFJ グローバルバランスVA	5,004,432円
合計	3,862,229,167円

○損益の状況 (2018年7月24日～2019年7月22日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	274,487,825	
受取配当金	272,319,504	
受取利息	1,107,153	
その他収益金	1,118,464	
支払利息	△ 57,296	
(B) 有価証券売買損益	122,504,345	
売買益	877,977,844	
売買損	△ 755,473,499	
(C) 保管費用等	△ 3,681,878	
(D) 当期損益金(A+B+C)	393,310,292	
(E) 前期繰越損益金	5,015,636,713	
(F) 追加信託差損益金	452,511,042	
(G) 解約差損益金	△ 231,268,554	
(H) 計(D+E+F+G)	5,630,189,493	
次期繰越損益金(H)	5,630,189,493	

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## 日本債券マザーファンド

### 《第21期》決算日2019年7月22日

[計算期間：2018年7月24日～2019年7月22日]

「日本債券マザーファンド」は、7月22日に第21期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第21期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	わが国の公社債を主要投資対象とし、ポートフォリオのデュレーション調整と銘柄選択による収益獲得をめざして運用を行います。ポートフォリオのデュレーションはベンチマークの平均を中心に調整します。デュレーション調整は主としてファンダメンタルズ分析に基づく中期的な金利見通しに沿って行います。銘柄選択は信用リスクと金利スプレッドを定量的・定性的に分析して行います。NOMURA-BPI総合をベンチマークとし、同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。
主 要 運 用 対 象	わが国の公社債を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資は行いません。

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		NOMURA-BPI総合		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率			
	円	%		%	%	%	百万円
17期(2015年7月22日)	13,761	2.5	363.53	2.2	99.0	—	9,609
18期(2016年7月22日)	14,888	8.2	390.11	7.3	98.3	—	9,652
19期(2017年7月24日)	14,494	△2.6	378.70	△2.9	98.3	—	9,297
20期(2018年7月23日)	14,600	0.7	381.25	0.7	97.9	—	8,277
21期(2019年7月22日)	15,071	3.2	392.34	2.9	95.4	—	8,253

(注) NOMURA-BPI総合とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		N O M U R A - B P I 総 合		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	率	騰 落 率	率		
(期 首) 2018年7月23日	円 14,600	% —	381.25	% —	% 97.9	% —
7 月 末	14,630	0.2	381.98	0.2	97.6	—
8 月 末	14,553	△0.3	379.89	△0.4	97.8	—
9 月 末	14,521	△0.5	378.99	△0.6	97.3	—
10 月 末	14,546	△0.4	379.64	△0.4	97.2	—
11 月 末	14,603	0.0	381.24	△0.0	97.5	—
12 月 末	14,711	0.8	384.13	0.8	98.3	—
2019年1 月 末	14,774	1.2	385.58	1.1	97.7	—
2 月 末	14,813	1.5	386.43	1.4	96.9	—
3 月 末	14,924	2.2	389.14	2.1	97.2	—
4 月 末	14,878	1.9	387.94	1.8	97.8	—
5 月 末	14,980	2.6	390.32	2.4	97.2	—
6 月 末	15,081	3.3	392.69	3.0	95.9	—
(期 末) 2019年7月22日	15,071	3.2	392.34	2.9	95.4	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ3.2%の上昇となりました。

## ◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(2.9%)を0.3%上回りました。

## 基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ● 基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

国内金利が低下したことが、基準価額の上昇要因となりました。

## ● 投資環境について

### ◎ 国内債券市況

国内金利は低下しました。

- ・ 日銀が2018年7月末の決定会合において長期金利の変動幅拡大を許容したことを受けて、国内金利は10月上旬にかけて超長期ゾーン中心に上昇しました。その後、世界的な株価下落や景気減速懸念の高まりなどから期末にかけて国内金利は低下基調となりました。

## ● 当該投資信託のポートフォリオについて

- ・ ファンド全体のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）については、2018年8月上旬から11月中旬にかけてはベンチマーク対比短め、その他の期間は中立を基本に調整しました。年限別構成については、デュレーションをベンチマーク対比短めとした期間は超長期ゾーンのアンダーウェイト、その他の期間は中期ゾーンのアンダーウェイト・超長期ゾーンのオーバーウェイトを基本に調整しました。
- ・ 債券種別構成については、日銀による社債買入オペや投資家の資金余剰感を背景とした需給関係から、一般債の спреッド（国債に対する金利差）は横ばい圏で推移すると判断し、相対的に спреッド 妙味のある事業債および円建外債のオーバーウェイト、スプレッド 妙味の乏しい地方債および政府保証債のアンダーウェイトを維持しました。

## ● 当該投資信託のベンチマークとの差異について（プラス要因）

### ◎ デュレーション

- ・ 2018年8月以降の金利上昇局面において、ファンド全体のデュレーションをベンチマークに対して短めとしたこと。

### ◎ 年限別構成

- ・ 年明け以降、パフォーマンスの優れた超長期ゾーンのオーバーウェイトを維持したこと。

### ◎ 債券種別構成

- ・ 相対的にパフォーマンスの劣後した政府保証債および地方債のアンダーウェイトを維持したこと。

## ○ 今後の運用方針

- ・ 安定した利子収益確保をめざし、債券組入比率は引き続き高位を維持する方針です。
- ・ ファンド全体のデュレーションは、当面ベンチマーク対比中立を基本に機動的にリスク度合いを調整する方針です。
- ・ 債券種別構成については、事業債および円建外債をベンチマーク対比多めの保有を維持する方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2018年7月24日～2019年7月22日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他費用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保管費用 )	(0)	(0.000)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( その他 )	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、14,749円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年7月24日～2019年7月22日)

## 公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国	国債証券	1,836,014	2,161,717
	特殊債券	—	100,289
内	社債券	1,804,820	1,595,802 ( 200,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年7月24日～2019年7月22日)

## 利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	B/A		百万円	D/C
公社債	百万円 3,640	百万円 738	% 20.3	百万円 3,857	百万円 880	% 22.8

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

## 利害関係人の発行する有価証券等

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 末 保 有 額
公社債	百万円 200	百万円 —	百万円 404

## 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

種 類	買 付 額
公社債	百万円 900

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三菱UFJリース、アコムです。

## ○組入資産の明細

(2019年7月22日現在)

## 国内公社債

## (A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	3,950,000	4,745,336	57.5	—	57.5	—	—
普通社債券	3,100,000	3,126,453	37.9	—	4.9	23.2	9.7
	(2,900,000)	(2,926,183)	(35.5)	(—)	(3.7)	(22.0)	(9.7)
合 計	7,050,000	7,871,789	95.4	—	62.4	23.2	9.7
	(2,900,000)	(2,926,183)	(35.5)	(—)	(3.7)	(22.0)	(9.7)

(注) ( )内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

## (B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当期			末
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第5回利付国債(40年)	2.0	70,000	104,616	2052/3/20
第7回利付国債(40年)	1.7	50,000	71,082	2054/3/20
第10回利付国債(40年)	0.9	30,000	35,139	2057/3/20
第11回利付国債(40年)	0.8	40,000	45,509	2058/3/20
第12回利付国債(40年)	0.5	10,000	10,307	2059/3/20
第342回利付国債(10年)	0.1	100,000	102,265	2026/3/20
第343回利付国債(10年)	0.1	20,000	20,470	2026/6/20
第344回利付国債(10年)	0.1	100,000	102,440	2026/9/20
第345回利付国債(10年)	0.1	40,000	41,010	2026/12/20
第346回利付国債(10年)	0.1	60,000	61,543	2027/3/20
第350回利付国債(10年)	0.1	40,000	41,038	2028/3/20
第351回利付国債(10年)	0.1	40,000	41,032	2028/6/20
第352回利付国債(10年)	0.1	80,000	82,009	2028/9/20
第354回利付国債(10年)	0.1	80,000	81,959	2029/3/20
第23回利付国債(30年)	2.5	50,000	69,780	2036/6/20
第26回利付国債(30年)	2.4	60,000	83,365	2037/3/20
第27回利付国債(30年)	2.5	40,000	56,568	2037/9/20
第28回利付国債(30年)	2.5	30,000	42,640	2038/3/20
第29回利付国債(30年)	2.4	20,000	28,197	2038/9/20
第30回利付国債(30年)	2.3	40,000	55,940	2039/3/20
第31回利付国債(30年)	2.2	20,000	27,698	2039/9/20
第32回利付国債(30年)	2.3	40,000	56,495	2040/3/20
第33回利付国債(30年)	2.0	20,000	27,170	2040/9/20
第34回利付国債(30年)	2.2	50,000	70,320	2041/3/20
第36回利付国債(30年)	2.0	60,000	82,603	2042/3/20
第37回利付国債(30年)	1.9	40,000	54,449	2042/9/20
第39回利付国債(30年)	1.9	50,000	68,535	2043/6/20
第40回利付国債(30年)	1.8	10,000	13,500	2043/9/20
第42回利付国債(30年)	1.7	70,000	93,141	2044/3/20
第44回利付国債(30年)	1.7	20,000	26,706	2044/9/20
第46回利付国債(30年)	1.5	40,000	51,619	2045/3/20
第47回利付国債(30年)	1.6	20,000	26,345	2045/6/20
第48回利付国債(30年)	1.4	10,000	12,699	2045/9/20
第49回利付国債(30年)	1.4	20,000	25,414	2045/12/20
第50回利付国債(30年)	0.8	50,000	55,963	2046/3/20
第53回利付国債(30年)	0.6	10,000	10,678	2046/12/20
第54回利付国債(30年)	0.8	80,000	89,642	2047/3/20
第58回利付国債(30年)	0.8	130,000	145,615	2048/3/20
第60回利付国債(30年)	0.9	60,000	68,823	2048/9/20
第94回利付国債(20年)	2.1	40,000	47,209	2027/3/20
第96回利付国債(20年)	2.1	40,000	47,431	2027/6/20
第98回利付国債(20年)	2.1	90,000	107,218	2027/9/20
第99回利付国債(20年)	2.1	150,000	179,437	2027/12/20
第100回利付国債(20年)	2.2	60,000	72,558	2028/3/20
第103回利付国債(20年)	2.3	40,000	48,938	2028/6/20

銘	柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
<b>国債証券</b>		%	千円	千円	
第105回利付国債	(20年)	2.1	80,000	96,810	2028/9/20
第108回利付国債	(20年)	1.9	30,000	35,870	2028/12/20
第110回利付国債	(20年)	2.1	40,000	48,771	2029/3/20
第111回利付国債	(20年)	2.2	40,000	49,356	2029/6/20
第113回利付国債	(20年)	2.1	40,000	49,134	2029/9/20
第114回利付国債	(20年)	2.1	60,000	73,964	2029/12/20
第116回利付国債	(20年)	2.2	30,000	37,432	2030/3/20
第118回利付国債	(20年)	2.0	50,000	61,547	2030/6/20
第121回利付国債	(20年)	1.9	20,000	24,473	2030/9/20
第123回利付国債	(20年)	2.1	50,000	62,516	2030/12/20
第125回利付国債	(20年)	2.2	30,000	37,981	2031/3/20
第128回利付国債	(20年)	1.9	40,000	49,374	2031/6/20
第130回利付国債	(20年)	1.8	40,000	49,054	2031/9/20
第132回利付国債	(20年)	1.7	40,000	48,680	2031/12/20
第136回利付国債	(20年)	1.6	60,000	72,426	2032/3/20
第137回利付国債	(20年)	1.7	10,000	12,226	2032/6/20
第140回利付国債	(20年)	1.7	50,000	61,268	2032/9/20
第141回利付国債	(20年)	1.7	50,000	61,399	2032/12/20
第143回利付国債	(20年)	1.6	50,000	60,842	2033/3/20
第145回利付国債	(20年)	1.7	70,000	86,312	2033/6/20
第146回利付国債	(20年)	1.7	20,000	24,709	2033/9/20
第147回利付国債	(20年)	1.6	60,000	73,463	2033/12/20
第148回利付国債	(20年)	1.5	80,000	96,948	2034/3/20
第149回利付国債	(20年)	1.5	70,000	84,958	2034/6/20
第150回利付国債	(20年)	1.4	70,000	84,030	2034/9/20
第152回利付国債	(20年)	1.2	80,000	93,855	2035/3/20
第153回利付国債	(20年)	1.3	30,000	35,693	2035/6/20
第154回利付国債	(20年)	1.2	70,000	82,246	2035/9/20
第155回利付国債	(20年)	1.0	60,000	68,607	2035/12/20
第158回利付国債	(20年)	0.5	60,000	63,619	2036/9/20
第159回利付国債	(20年)	0.6	60,000	64,581	2036/12/20
第160回利付国債	(20年)	0.7	20,000	21,873	2037/3/20
第162回利付国債	(20年)	0.6	60,000	64,488	2037/9/20
第164回利付国債	(20年)	0.5	10,000	10,558	2038/3/20
第166回利付国債	(20年)	0.7	100,000	109,126	2038/9/20
小	計		3,950,000	4,745,336	
<b>普通社債券</b>					
第497回関西電力		1.002	100,000	104,442	2025/6/20
第527回関西電力		0.28	100,000	100,424	2024/4/25
第532回関西電力		0.18	100,000	99,876	2024/7/25
第469回東北電力		1.543	100,000	105,408	2023/6/23
第450回九州電力		0.17	100,000	100,085	2022/5/25
第5回ヤフー		0.2	100,000	100,139	2022/12/7
第53回日本電気		0.26	100,000	100,125	2023/9/21
第15回パナソニック		0.19	200,000	200,498	2021/9/17
第1回明治安田生命2017基金		0.35	100,000	100,213	2022/8/4

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
普通社債券	%	千円	千円	
第28回三菱東京UFJ銀行（劣後特約付）	1.56	200,000	204,246	2021/1/20
第20回みずほ銀行（劣後特約付）	1.49	200,000	207,800	2022/6/3
第34回リコーリース	0.1	100,000	100,080	2022/2/28
第5回イオンフィナンシャルサービス	0.23	100,000	100,087	2022/5/27
第75回アコム	0.309	100,000	100,127	2023/2/28
第68回三菱UFJリース	0.15	100,000	99,887	2024/7/11
第19回大和証券グループ本社	0.412	200,000	200,336	2020/2/25
第1回野村ホールディングス無担保社債	0.3	100,000	100,212	2023/9/4
第82回東海旅客鉄道	0.02	100,000	99,991	2021/3/15
第23回フランス相互信用連合銀行	0.217	100,000	100,153	2022/10/12
第3回マラケン・バンキング（2019）	0.27	100,000	100,194	2022/5/20
第1回パークレイズ・ピーエルシー期限前償還条項付	1.232	100,000	100,699	2024/9/25
第19回ルノー	0.36	200,000	199,548	2020/7/6
第11回ウエストパック・バンキング・コーポレーション	0.3	100,000	100,271	2021/1/22
第3回ソシエテ ジェネラル円貨社債（2018）	0.804	100,000	101,342	2023/10/12
NATWEST MARKETS	0.737	100,000	99,998	2022/7/4
UBS GROUP FUNDING (SWITZERLAND)	0.719	100,000	100,272	2024/11/8
小 計		3,100,000	3,126,453	
合 計		7,050,000	7,871,789	

## ○投資信託財産の構成

(2019年7月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 7,871,789	% 95.3
コール・ローン等、その他	384,014	4.7
投資信託財産総額	8,255,803	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年7月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	8,255,803,567
コール・ローン等	266,560,579
公社債(評価額)	7,871,789,200
未収入金	100,549,000
未収利息	16,627,152
前払費用	277,636
(B) 負債	1,912,433
未払解約金	1,911,143
未払利息	520
その他未払費用	770
(C) 純資産総額(A-B)	8,253,891,134
元本	5,476,637,184
次期繰越損益金	2,777,253,950
(D) 受益権総口数	5,476,637,184口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,071円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 5,669,120,814円  
 期中追加設定元本額 644,279,894円  
 期中一部解約元本額 836,763,524円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.5071円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ D C金利連動アロケーション型バランスファンド	1,913,581,292円
三菱UFJ <DC>日本債券ファンド	1,291,505,295円
三菱UFJ 国内バランス20	1,251,038,882円
三菱UFJ グローバルバランス(安定型)	283,580,278円
三菱UFJ <DC>グローバルバランス40型	190,167,026円
三菱UFJ グローバルバランス(積極型)	175,710,788円
三菱UFJ <DC>グローバルバランス20型	171,719,306円
三菱UFJ <DC>グローバルバランス60型	109,259,157円
三菱UFJ 日本債券ファンドF(適格機関投資家限定)	61,365,738円
三菱UFJ グローバルバランスVA	28,709,422円
合計	5,476,637,184円

## ○損益の状況 (2018年7月24日~2019年7月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	74,638,607
受取利息	74,768,771
支払利息	△ 130,164
(B) 有価証券売買損益	181,644,500
売買益	195,868,200
売買損	△ 14,223,700
(C) 保管費用等	△ 13,822
(D) 当期損益金(A+B+C)	256,269,285
(E) 前期繰越損益金	2,608,078,847
(F) 追加信託差損益金	306,032,289
(G) 解約差損益金	△ 393,126,471
(H) 計(D+E+F+G)	2,777,253,950
次期繰越損益金(H)	2,777,253,950

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## 三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド

### 【第19期】決算日2018年12月17日

[計算期間：2017年12月16日～2018年12月17日]

「三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド」は、12月17日に第19期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第19期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	<p>FTSE世界国債インデックス（除く日本・円ベース）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る投資成果をめざします。</p> <p>運用にあたっては、各国のマクロ分析や金利予測に基づいて、カントリーアロケーション、デュレーションおよび残存構成のコントロール、利回り較差に着目した銘柄選択でアクティブに超過収益の獲得をめざします。さらに、ポートフォリオとベンチマークを比較分析することにより、リスクのチェックとコントロールを行います。</p> <p>組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。ただし、エクスポージャーのコントロール等を目的として為替予約取引等を活用する場合があります。</p> <p>公社債の組入比率は高位（通常の状態では90%以上）を基本とします。</p> <p>（ファンドにおいてわが国を除く世界主要国の公社債とは、国債、政府保証債、政府機関債、国際機関債（複数国が協調して設立した国際的な組織が発行する債券）、社債等を指します。）</p>
主要運用対象	わが国を除く世界主要国の公社債（国債、政府保証債、政府機関債、国際機関債、社債等）を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資に制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		FTSE世界国債インデックス		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
	期 騰 落	中 率	(除く日本・円ベース)	期 騰 落 中 率			
	円	%		%	%	%	百万円
15期(2014年12月15日)	30,511	21.1	479.55	18.5	98.1	—	75,994
16期(2015年12月15日)	29,974	△ 1.8	465.14	△ 3.0	97.6	—	54,634
17期(2016年12月15日)	28,595	△ 4.6	438.85	△ 5.7	97.6	—	45,623
18期(2017年12月15日)	29,913	4.6	462.75	5.4	97.5	—	44,779
19期(2018年12月17日)	29,150	△ 2.6	453.56	△ 2.0	96.4	—	45,158

(注) FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		FTSE世界国債インデックス (除く日本・円ベース)		債 組 入 比	券 率 %	債 先 物 比 %	券 率 %
	円	騰 落 率 %	(除く日本・円ベース)	騰 落 率 %				
(期 首) 2017年12月15日	29,913	—	462.75	—	97.5	—	—	—
12月末	30,155	0.8	464.62	0.4	97.3	—	—	—
2018年1月末	29,655	△0.9	453.81	△1.9	96.1	—	—	—
2月末	28,891	△3.4	443.21	△4.2	97.3	—	—	—
3月末	29,211	△2.3	445.87	△3.6	97.9	—	—	—
4月末	29,553	△1.2	450.79	△2.6	97.8	—	—	—
5月末	28,261	△5.5	439.03	△5.1	98.8	—	—	—
6月末	28,647	△4.2	444.97	△3.8	97.4	—	—	—
7月末	28,836	△3.6	448.91	△3.0	98.1	—	—	—
8月末	28,838	△3.6	449.73	△2.8	97.0	—	—	—
9月末	29,283	△2.1	455.63	△1.5	97.4	—	—	—
10月末	28,703	△4.0	446.44	△3.5	97.7	—	—	—
11月末	28,950	△3.2	451.15	△2.5	97.9	—	—	—
(期 末) 2018年12月17日	29,150	△2.6	453.56	△2.0	96.4	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

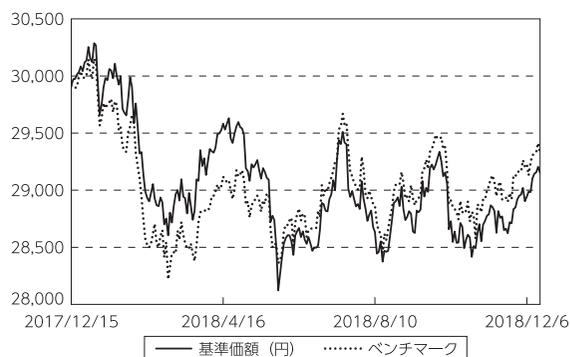
## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ2.6%の下落となりました。

## ◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマーク（FTSE世界国債インデックス（除く日本・円ベース））の騰落率（-2.0%）を0.6%下回りました。

## 基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ●投資環境について

## ◎海外債券市況

- ・欧米長期金利は、米国では上昇した一方、欧州において、ドイツなどでは低下しました。
- ・期首から2018年2月中旬にかけては、米国の税制改革法の成立などを背景に、グローバルな景気拡大期待に伴い期待インフレ率が上昇したことなどから、米独長期金利は上昇しました。その後、8月にかけては、米国長期金利は概ねもみ合いで推移した一方、欧州では、5月に、イタリアで政局不安が高まったことなどが、ドイツ長期金利の低下要因となりました。期末にかけては、米国と欧州で景況感の改善がみられたことなどを背景に、米独長期金利は上昇する局面もありましたが、10月以降、米中貿易摩擦に対する懸念などを背景に世界的に株式市場が下落したことや、米国の政策金利引き上げのペースが鈍化するとの思惑が高まったことなどを背景に、米独長期金利は低下しました。結果、期を通じてみると、米国長期金利は上昇した一方、欧州では、ドイツなどの長期金利は低下しました。

## ◎為替市況

- ・米ドルは円に対して上昇した一方、ユーロは円に対して下落しました。期首から2018年3月にかけては、2月に世界的な株価下落をきっかけに投資家のリスクセンチメントが悪化し、安全資産として円が買われたことなどから、米ドル、ユーロは対円で下落しました。その後、米ドルは、9月にかけて、米国株式市場の一部指数が最高値を更新するなど投資家のリスクセンチメント改善などを受けて、対円で上昇基調で推移し、期を通じてみると、対円で上昇して終わりました。一方、ユーロは、イタリアの政局不安が高まったことや、トルコ金融市場の混乱などが対円での下落要因となり、期を通じてみると、対円で下落して終わりました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・わが国を除く世界主要国の公社債を主要投資対

象とし、ベンチマークを中長期的に上回る投資成果をめざして運用を行いました。期を通じて債券の組入比率は高位を維持しました。

- ・債券デュレーション（平均回収期間や金利感応度）については、米国の債券デュレーションは、2018年5月中旬から下旬にかけては、インフレ期待の上昇等を受けて、金利上昇圧力が高まったと判断し、ベンチマーク比短めとしましたが、イタリアの政局不安を受けて投資家のリスクセンチメントが悪化したことなどから、同中立に変更しました。その後、米国のイールドカーブの平坦化を想定し、超長期ゾーンをベンチマーク比オーバーウェイト、中短期ゾーンを同アンダーウェイトとする中、7月下旬に超長期ゾーンのオーバーウェイト幅を拡大し、米国の債券デュレーションを同長めに変更したものの、10月上旬には、堅調な米国景気を背景に、米国の債券デュレーションを同中立に変更しました。欧州の債券デュレーションは、期を通じて同中立を維持しました。
- ・欧州において、スペイン、イタリアについては、景気・金融両面の安定から周辺国国債のドイツ国債に対するスプレッド（利回り格差）が縮小すると判断し、期首から2018年5月下旬にかけてベンチマーク比オーバーウェイトとしていましたが、イタリアの政局不安を受けて、5月下旬にイタリアを同アンダーウェイト、スペインを同中立に変更しました。その後、6月下旬に政局不安に対する懸念が後退したと判断し、イタリアを同中立、スペインを同オーバーウェイトに変更しました。ドイツは、期首から5月下旬にかけてベンチマーク比アンダーウェイトとしていましたが、イタリアの政局不安を背景に5月下旬から8月下旬にかけて同オーバーウェイトとしました。フランスは、期を通じて、同アンダーウェイトで維持しました。
- ・カントリーアロケーション戦略については、期首から2018年5月にかけて、景気モメンタムの違い等に着目し、米ドル、豪ドル、カナダドルなどをベンチマーク比中立からアンダーウェイ

トでコントロールした一方、ユーロ、ポーランドズロチ、マレーシアリングギット、英ポンドを同中立からオーバーウェイトでコントロールしました。その後、10月下旬にかけては、豪ドル、カナダドルを、引き続きベンチマーク比中立からアンダーウェイトでコントロールしつつ、5月下旬に、米国の景気拡大期待や新興国の景気減速懸念等を背景に、米ドルをベンチマーク比中立から同オーバーウェイトに、マレーシアリングギットを同オーバーウェイトから中立に変更したほか、イタリアの政局不安などを背景に、ユーロを同中立からアンダーウェイトでコントロールしました。また、英ポンドは、英国の欧州連合（EU）離脱交渉の先行き不透明感が高まったことなどから、8月上旬に同オーバーウェイトから中立に変更し、10月上旬には、南アフリカランドを同中立からアンダーウェイトに変更しました。

- ・期末にかけては、豪ドル、南アフリカランドをベンチマーク比アンダーウェイトとしつつ、10月下旬に、カナダドルを同中立からオーバーウェイトに変更し、また、11月下旬には、米国の利上げ継続に不透明感が台頭したことなどを背景に、米ドルを同オーバーウェイトから中立に、ユーロを同中立からオーバーウェイトに変更しました。
- ・当期は、債券利子収入を享受したことや、米ドルが対円で上昇したことなどがプラスに寄与したものの、米国やイタリアの長期金利が上昇したことや、ユーロが対円で下落したことなどがマイナスに影響し、基準価額は下落しました。

●当該投資信託のベンチマークとの差異について  
 ファンドの騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（除く日本・円ベース）の騰落率（-2.0%）を0.6%下回りました。

（マイナス要因）

- ・2018年4月から5月下旬にかけて、ポーランドズロチやユーロ、英ポンドなどをベンチマーク

比中立からオーバーウェイトでコントロールしつつ、米ドルなどを同アンダーウェイトとしたことなどがマイナス要因となりました。

- ・欧州において、5月にドイツをベンチマーク比アンダーウェイトとしていた一方、イタリアを同オーバーウェイトとしたことなどがマイナス要因となりました。

## ○今後の運用方針

### ◎運用環境の見通し

- ・当面の欧米長期金利はもみ合う展開を想定し、米国では、米連邦公開市場委員会（FOMC）は、引き続き政策金利誘導目標の引き上げを目指している一方で、今後の引き上げペースは世界景気や市場動向を注視するものと考えられ、長期金利はもみ合う展開を見込みます。欧州では、コアのインフレ圧力は抑制される中、欧州中央銀行（ECB）は、資産購入に伴うバランスシートの拡大を2018年末に終了することを決定し、その後の金融政策の方針に注目しています。為替市場では、米国の金融政策や米中間の通商問題、英国のEU離脱問題の動向などを背景に、当面は米ドル、ユーロともに不安定な展開が継続しやすいと考えます。

### ◎今後の運用方針

- ・前記の運用環境の見通しに基づき、金利戦略においては、各国の景気動向に加え、財政政策・金融政策を含む各種政策や市場の内部要因が長期金利へ与える影響を考慮し、デュレーションなどのコントロールを行います。その中で、欧州では各国の財政状況や政策対応などを重視した銘柄選別に注力します。また、カンントリーアロケーション戦略においては、各国のファンダメンタルズ状況や投資家のリスク選好度を重視し、環境見通しの変化に対応して調整を行う方針です。債券の組入比率は高位を維持し、信用力の高い国債中心の組み入れを維持する方針です。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年12月16日～2018年12月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 10	% 0.033	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(10)	(0.033)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	10	0.033	
期中の平均基準価額は、29,060円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2017年12月16日～2018年12月17日)

## 公社債

		買付額	売付額	
外	アメリカ	千アメリカドル 国債証券 236,544	千アメリカドル 202,759	
		社債券 -	3,737	
	カナダ	千カナダドル 国債証券 39,899	千カナダドル 20,134	
		千メキシコペソ 国債証券 26,587	千メキシコペソ 19,303	
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	
		ドイツ	国債証券 61,055	39,318
		イタリア	国債証券 82,788	97,686
		フランス	国債証券 18,396	28,472
		オランダ	国債証券 6,061	2,985
		スペイン	国債証券 39,873	48,214
		ベルギー	国債証券 8,796	969
	国	イギリス	千イギリスポンド 国債証券 22,556	千イギリスポンド 21,675
		ノルウェー	千ノルウェークローネ 国債証券 -	千ノルウェークローネ 2,155
		ポーランド	千ポーランドズロチ 国債証券 4,315	千ポーランドズロチ 77,402
オーストラリア		千オーストラリアドル 国債証券 111	千オーストラリアドル 104	
シンガポール		千シンガポールドル 国債証券 217	千シンガポールドル 409	
マレーシア		千マレーシアリングット 国債証券 21,304	千マレーシアリングット 49,668	
南アフリカ		千南アフリカランド 国債証券 5,587	千南アフリカランド 31,398	

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2017年12月16日～2018年12月17日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 22,164	百万円 793	% 3.6	百万円 20,683	百万円 610	% 2.9

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUFJ証券です。

## ○組入資産の明細

(2018年12月17日現在)

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 175,000	千アメリカドル 172,949	千円 19,624,600	% 43.5	% —	% 25.3	% 16.2	% 2.0
カナダ	千カナダドル 21,000	千カナダドル 20,175	1,710,850	3.8	—	3.8	—	—
メキシコ	千メキシコペソ 61,000	千メキシコペソ 60,480	341,107	0.8	—	0.6	0.2	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	23,000	24,306	3,118,065	6.9	—	4.6	2.3	—
イタリア	44,000	46,173	5,923,082	13.1	—	9.8	3.3	—
フランス	12,000	12,480	1,601,006	3.5	—	2.1	1.5	—
オランダ	7,000	7,094	910,090	2.0	—	2.0	—	—
スペイン	32,000	37,653	4,830,222	10.7	—	10.7	—	—
ベルギー	9,000	10,681	1,370,189	3.0	—	3.0	—	—
アイルランド	3,000	3,202	410,847	0.9	—	0.9	—	—
イギリス	千イギリスポンド 14,000	千イギリスポンド 19,539	2,790,606	6.2	—	4.9	—	1.3
スウェーデン	千スウェーデンクローネ 13,000	千スウェーデンクローネ 14,374	180,115	0.4	—	0.2	0.1	0.1
ノルウェー	千ノルウェークローネ 7,000	千ノルウェークローネ 7,161	94,241	0.2	—	0.1	0.1	—
ポーランド	千ポーランドズロチ 8,000	千ポーランドズロチ 8,798	263,001	0.6	—	0.2	0.4	—
オーストラリア	千オーストラリアドル 100	千オーストラリアドル 112	9,180	0.0	—	0.0	—	—
シンガポール	千シンガポールドル 1,600	千シンガポールドル 1,758	145,044	0.3	—	0.3	—	—
マレーシア	千マレーシアリンギット 7,000	千マレーシアリンギット 6,969	188,877	0.4	—	0.2	0.2	—
合 計	—	—	43,511,130	96.4	—	68.8	24.2	3.4

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
	国債証券	1.375 T-NOTE 200131	1.375	8,000	7,880	894,214	2020/1/31
		1.625 T-NOTE 260215	1.625	27,000	24,918	2,827,450	2026/2/15
		1.75 T-NOTE 230515	1.75	14,000	13,427	1,523,671	2023/5/15
		2 T-NOTE 221031	2.0	28,000	27,251	3,092,270	2022/10/31
		2 T-NOTE 250815	2.0	25,000	23,775	2,697,793	2025/8/15
		2.25 T-NOTE 210430	2.25	15,000	14,841	1,684,098	2021/4/30
		2.75 T-NOTE 240215	2.75	24,000	23,990	2,722,216	2024/2/15
		3 T-BOND 451115	3.0	2,000	1,951	221,426	2045/11/15
		3.125 T-BOND 430215	3.125	4,000	3,995	453,419	2043/2/15
		3.125 T-BOND 440815	3.125	3,000	2,996	340,037	2044/8/15
		3.875 T-BOND 400815	3.875	7,000	7,877	893,886	2040/8/15
		4.5 T-BOND 360215	4.5	4,000	4,826	547,705	2036/2/15
		4.75 T-BOND 410215	4.75	5,000	6,333	718,672	2041/2/15
	特殊債券	1.625 BK NEDERLAN 210419	1.625	5,000	4,853	550,757	2021/4/19
	普通社債券	3.875 COOPERATIEV 220208	3.875	4,000	4,027	456,979	2022/2/8
小	計					19,624,600	
カナダ				千カナダドル	千カナダドル		
	国債証券	1.5 CAN GOVT 260601	1.5	21,000	20,175	1,710,850	2026/6/1
小	計					1,710,850	
メキシコ				千メキシコペソ	千メキシコペソ		
	国債証券	10 MEXICAN BONOS 241205	10.0	31,000	32,635	184,064	2024/12/5
		6.5 MEXICAN BONOS 220609	6.5	15,000	13,976	78,829	2022/6/9
		8.5 MEXICAN BONOS 381118	8.5	15,000	13,867	78,213	2038/11/18
小	計					341,107	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
ドイツ	国債証券	0 OBL 230414	—	8,000	8,131	1,043,121	2023/4/14
		0.5 BUND 260215	0.5	14,000	14,546	1,865,977	2026/2/15
		4.75 BUND 340704	4.75	1,000	1,628	208,966	2034/7/4
イタリア	国債証券	0.45 ITALY GOVT 210601	0.45	2,000	1,980	254,022	2021/6/1
		0.95 ITALY GOVT 230301	0.95	10,000	9,661	1,239,338	2023/3/1
		1.85 ITALY GOVT 240515	1.85	11,000	10,820	1,388,109	2024/5/15
		2.5 ITALY GOVT 251115	2.5	5,000	4,999	641,366	2025/11/15
		4.75 ITALY GOVT 280901	4.75	14,000	16,289	2,089,552	2028/9/1
		5 ITALY GOVT 400901	5.0	2,000	2,421	310,692	2040/9/1
フランス	国債証券	1.25 O. A. T 360525	1.25	4,000	3,996	512,648	2036/5/25
		2 O. A. T 480525	2.0	3,000	3,257	417,844	2048/5/25
	普通社債券	2.25 BNP PARIBAS 210113	2.25	5,000	5,226	670,513	2021/1/13
オランダ	国債証券	0.25 NETH GOVT 250715	0.25	7,000	7,094	910,090	2025/7/15
スペイン	国債証券	1.95 SPAIN GOVT 260430	1.95	14,000	14,937	1,916,194	2026/4/30
		2.35 SPAIN GOVT 330730	2.35	7,000	7,362	944,450	2033/7/30
		4.9 SPAIN GOVT 400730	4.9	5,000	7,225	926,901	2040/7/30
		5.9 SPAIN GOVT 260730	5.9	6,000	8,128	1,042,675	2026/7/30
ベルギー	国債証券	1.6 BEL GOVT 470622	1.6	3,000	2,910	373,303	2047/6/22
		4.5 BEL GOVT 260328	4.5	6,000	7,771	996,886	2026/3/28

銘柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
アイルランド	国債証券	1 IRISH GOVT 260515	1.0	1,000	1,026	131,702	2026/5/15
		2 IRISH GOVT 450218	2.0	1,000	1,045	134,077	2045/2/18
		2.4 IRISH GOVT 300515	2.4	1,000	1,130	145,066	2030/5/15
小 計						18,163,504	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
	国債証券	1.75 GILT 190722	1.75	4,000	4,024	574,733	2019/7/22
		4.25 GILT 320607	4.25	2,000	2,685	383,500	2032/6/7
		4.25 GILT 551207	4.25	5,000	8,481	1,211,319	2055/12/7
		6 GILT 281207	6.0	3,000	4,348	621,052	2028/12/7
小 計						2,790,606	
スウェーデン				千スウェーデンクローネ	千スウェーデンクローネ		
	国債証券	1 SWD GOVT 261112	1.0	4,000	4,218	52,853	2026/11/12
		1.5 SWD GOVT 231113	1.5	4,000	4,304	53,930	2023/11/13
		3.5 SWD GOVT 390330	3.5	1,000	1,422	17,818	2039/3/30
		5 SWD GOVT 201201	5.0	4,000	4,430	55,513	2020/12/1
小 計						180,115	
ノルウェー				千ノルウェークローネ	千ノルウェークローネ		
	国債証券	1.75 NORWE GOVT 250313	1.75	5,000	5,038	66,309	2025/3/13
		3.75 NORWE GOVT 210525	3.75	2,000	2,122	27,932	2021/5/25
小 計						94,241	
ポーランド				千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ		
	国債証券	3.25 POLAND 250725	3.25	3,000	3,122	93,338	2025/7/25
		5.75 POLAND 220923	5.75	5,000	5,676	169,663	2022/9/23
小 計						263,001	
オーストラリア				千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
	国債証券	4.25 AUST GOVT 260421	4.25	100	112	9,180	2026/4/21
小 計						9,180	
シンガポール				千シンガポールドル	千シンガポールドル		
	国債証券	3.5 SINGAPOREGOVT 270301	3.5	1,600	1,758	145,044	2027/3/1
小 計						145,044	
マレーシア				千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット		
	国債証券	3.882 MALAYSIAGOV 220310	3.882	3,000	3,016	81,737	2022/3/10
		3.9 MALAYSIAGOV 261130	3.9	3,000	2,950	79,955	2026/11/30
		4.935 MALAYSIAGOV 430930	4.935	1,000	1,003	27,185	2043/9/30
小 計						188,877	
合 計						43,511,130	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## ○投資信託財産の構成

(2018年12月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 43,511,130	% 96.1
コール・ローン等、その他	1,785,284	3.9
投資信託財産総額	45,296,414	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (45,163,560千円) の投資信託財産総額 (45,296,414千円) に対する比率は99.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=113.47円	1 カナダドル=84.80円	1 メキシコペソ=5.64円	1 ユーロ=128.28円
1 イギリスポンド=142.82円	1 スウェーデンクローネ=12.53円	1 ノルウェークローネ=13.16円	1 ポーランドズロチ=29.89円
1 オーストラリアドル=81.36円	1 シンガポールドル=82.47円	1 マレーシアリングギット=27.10円	1 南アフリカランド=7.89円

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年12月17日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	45,385,945,557
コール・ローン等	1,483,423,687
公社債(評価額)	43,511,130,478
未収入金	89,705,250
未収利息	230,886,823
前払費用	70,799,319
(B) 負債	227,037,307
未払金	89,539,090
未払解約金	137,497,911
未払利息	240
その他未払費用	66
(C) 純資産総額(A-B)	45,158,908,250
元本	15,492,160,023
次期繰越損益金	29,666,748,227
(D) 受益権総口数	15,492,160,023口
1万口当たり基準価額(C/D)	29,150円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 14,970,094,302円  
 期中追加設定元本額 2,524,613,235円  
 期中一部解約元本額 2,002,547,514円  
 また、1口当たり純資産額は、期末2.9150円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ バランスインカムオープン(毎月決算型)	4,571,099,288円
三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	466,377,692円
三菱UFJ ライフプラン 2 5	29,807,809円
三菱UFJ ライフプラン 5 0	59,493,724円
三菱UFJ ライフプラン 7 5	19,272,234円
三菱UFJ 海外債券オープン	3,745,911,979円
三菱UFJ 海外債券オープン(3ヵ月決算型)	3,752,339,479円
三菱UFJ ライフプラン 5 0 VA(適格機関投資家限定)	40,634,203円
三菱UFJ 海外債券オープンVA(適格機関投資家限定)	88,216,458円
三菱UFJ 世界バランスファンド 2 5 VA(適格機関投資家限定)	125,964,400円
三菱UFJ 世界バランスファンド 5 0 VA(適格機関投資家限定)	619,459,801円
三菱UFJ 国際 海外債券オープン(適格機関投資家限定)	1,764,963,615円
三菱UFJ ライフ・バランスファンド(安定型)	31,904,050円
三菱UFJ ライフ・バランスファンド(安定成長型)	29,717,751円
三菱UFJ ライフ・バランスファンド(成長型)	24,257,506円
三菱UFJ ライフ・バランスファンド(積極型)	13,672,379円
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2020	6,309,602円
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2030	23,050,753円
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2040	22,709,916円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド(安定型)	6,884,493円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド(安定成長型)	13,510,462円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド(成長型)	7,682,615円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド(積極型)	4,084,833円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2020	3,384,664円

## ○損益の状況 (2017年12月16日～2018年12月17日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,045,523,177
受取利息	1,046,422,650
支払利息	△ 899,473
(B) 有価証券売買損益	△ 2,120,668,806
売買益	785,636,881
売買損	△ 2,906,305,687
(C) 保管費用等	△ 14,244,586
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,089,390,215
(E) 前期繰越損益金	29,809,554,186
(F) 追加信託差損益金	4,755,368,208
(G) 解約差損益金	△ 3,808,783,952
(H) 計(D+E+F+G)	29,666,748,227
次期繰越損益金(H)	29,666,748,227

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2030	10,830,671円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2040	10,619,646円
合計	15,492,160,023円

[お 知 ら せ]

- ①当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。  
(変更前(旧) <http://www.am.mufg.jp/> → 変更後(新) <https://www.am.mufg.jp/>)  
(2018年1月1日)
- ②使用指数名称の変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。  
(2018年2月8日)
- ③本資料内における旧シティ債券インデックスは、ブランド変更に伴い、FTSE債券インデックスの名称に変更しています。

## マネー・マーケット・マザーファンド

### 《第29期》決算日2019年5月20日

[計算期間：2018年11月21日～2019年5月20日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、5月20日に第29期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第29期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準 円	価額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率					
25期(2017年5月22日)	10,184		0.0		%		—	百万円 1,681
26期(2017年11月20日)	10,184		0.0		—		—	1,266
27期(2018年5月21日)	10,184		0.0		—		—	1,269
28期(2018年11月20日)	10,183		△0.0		—		—	1,882
29期(2019年5月20日)	10,183		0.0		—		—	1,464

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 円	価額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
		騰 落	率				
(期首) 2018年11月20日	10,183		—		%		—
11月末	10,183		0.0		—		—
12月末	10,183		0.0		—		—
2019年1月末	10,183		0.0		—		—
2月末	10,183		0.0		—		—
3月末	10,183		0.0		—		—
4月末	10,183		0.0		—		—
(期末) 2019年5月20日	10,183		0.0		—		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

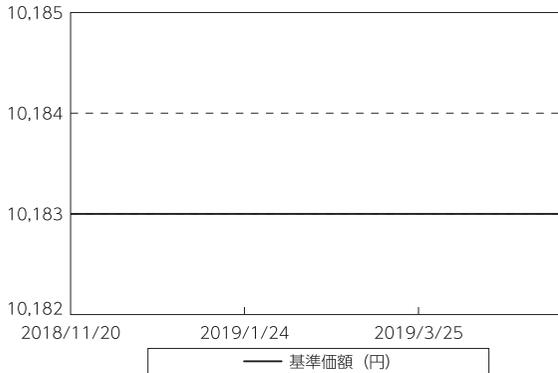
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ横ばいとなりました。

基準価額等の推移



## ●投資環境について

## ◎国内短期金融市場

- ・当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2019年5月20日のコール・レートは-0.068%となりました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は横ばいとなりました。

## ○今後の運用方針

## ◎運用環境の見通し

- ・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われれます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

## ◎今後の運用方針

- ・コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2018年11月21日～2019年5月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,183円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年11月21日～2019年5月20日)

## その他有価証券

		買 付 額	売 付 額
国 内	コマーシャル・ペーパー	千円 232,199,828	千円 232,599,835

(注) 金額は受渡代金。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年11月21日～2019年5月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2019年5月20日現在)

## 国内その他有価証券

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 1,399,996	% 95.6

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

## ○投資信託財産の構成

(2019年5月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
その他有価証券	千円 1,399,996	% 95.5
コール・ローン等、その他	65,419	4.5
投資信託財産総額	1,465,415	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年5月20日現在)

項目	当期末 円
(A) 資産	1,465,415,191
コール・ローン等	65,418,280
その他有価証券(評価額)	1,399,996,911
(B) 負債	543,682
未払解約金	543,565
未払利息	117
(C) 純資産総額(A-B)	1,464,871,509
元本	1,438,552,736
次期繰越損益金	26,318,773
(D) 受益権総口数	1,438,552,736口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,183円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 1,848,959,925円  
 期中追加設定元本額 1,374,000,391円  
 期中一部解約元本額 1,784,407,580円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0183円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	350,007,595円
三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド(毎月決算型)	2,280,337円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	5,874,002円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	1,048,688円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース>(毎月分配型)	111,354円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	20,147,276円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	52,804,813円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>(毎月分配型)	635,856円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型)	3,078,471円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	129,095,075円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース>(毎月分配型)	89,620円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース>(毎月分配型)	1,033,322円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	212,322円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	16,402,315円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド(毎月分配型)	1,378,553円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)	9,201,705円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	270,734円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	358,088円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	667,045円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	3,836,590円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	265,842円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	1,037,414円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	5,850,843円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	2,016,707円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	1,145,161円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	43,682,881円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	1,513,806円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース>(毎月分配型)	1,182,898円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	82,857,749円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	847,016円

## ○損益の状況 (2018年11月21日~2019年5月20日)

項目	当期 円
(A) 配当等収益	△ 52,807
受取利息	5,192
支払利息	△ 57,999
(B) 保管費用等	△ 857
(C) 当期損益金(A+B)	△ 53,664
(D) 前期繰越損益金	33,882,688
(E) 追加信託差損益金	25,144,076
(F) 解約差損益金	△32,654,327
(G) 計(C+D+E+F)	26,318,773
次期繰越損益金(G)	26,318,773

(注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	600,566円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	992,946円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	1,193,379円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	88,852円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	990,674円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム (毎月分配型)	19,635,282円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)	6,336,371円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)	11,400,264円
三菱UFJ 米国リートファンドA<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,836円
三菱UFJ 米国リートファンドB<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	98,368円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (毎月分配型)	7,661,389円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)	30,649円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)	99,465円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)	69,757円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	30,457円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型)	641,668円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	1,559,264円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	4,881,309円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	19,658円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,449円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,828,976円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	7,717,476円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	211,113円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	1,936,118円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9,829円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	5,504,257円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	13,128,307円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	2,424,660円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	9,340,694円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	1,611,189円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	6,722,976円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (毎月分配型)	13,206,980円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (年2回分配型)	2,304,081円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (年2回分配型)	2,664,317円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (年2回分配型)	421,681円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	961,645円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (年2回分配型)	608,110円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (年2回分配型)	734,038円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (年2回分配型)	601,281円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンドA>	1,506,013円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンドB>	1,355,388円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型)	5,144,832円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8,859,081円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	1,609,969円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	2,065,331円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Cコース (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	79,543円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	50,083円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	3,828,727円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (毎月分配型)	9,387,547円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,545,187円

米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8,124,755円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	2,990,177円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	3,377,211円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (毎月分配型)	8,478,079円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	4,145,749円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	8,067,104円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	3,319,056円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	20,075,917円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	1,616,484円
三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム (毎月決算型)	5,899,118円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	10,826,836円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (年2回分配型)	2,026,238円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (毎月分配型)	128,363円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (年2回分配型)	79,540円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	1,375,824円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	698,261円
マルチストラテジー・ファンド (ラップ向け)	491,015円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	564,702円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	89,371円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)	3,063,931円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	6,324,266円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030 (確定拠出年金)	3,228,387円
マクロ・トータル・リターン・ファンド	9,820円
スマート・プロテクター90 (限定追加型) 2016-12	6,313,826円
米国政策テーマ株式オープン (為替ヘッジあり)	19,600円
米国政策テーマ株式オープン (為替ヘッジなし)	206,110円
スマート・プロテクター90オープン	981,933円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (資産成長型)	383,914円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (資産成長型)	305,382円
テンブルトン新興国小型株ファンド	49,097円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,683,229円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (年2回決算型)	17,656,128円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	5,843,481円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (年2回決算型)	25,393,755円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	36,457円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	87,384円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配コース)	9,820円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配抑制コース)	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配コース)	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配抑制コース)	9,820円
北歐小型株ファンド (為替ヘッジあり)	9,821円
北歐小型株ファンド (為替ヘッジなし)	9,821円
ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9,821円
グローバル・インカム・フルコース (為替リスク軽減型)	983円
グローバル・インカム・フルコース (為替ヘッジなし)	983円
<DC>ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9,821円
Navio インド債券ファンド	296,406円
Navio マネーボールファンド	5,079,595円
三菱UFJ インド債券オープン (毎月決算型)	39,351円
三菱UFJ/AMP オーストラリアRETファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	11,293,333円

マネーブルファンド (FOF s用) (適格機関投資家限定)	9,985,986円
MUAMトピックスリスクコントロール (5%) インデックスファンド (FOF s用) (適格機関投資家限定)	7,134,289円
MUAMトピックスリスクコントロール (10%) インデックスファンド (FOF s用) (適格機関投資家限定)	34,070,036円
ピムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド (毎月分配型)	11,784,347円
ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース (為替ヘッジなし)	10,766,608円
ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース (為替ヘッジあり)	14,313,901円
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2020	15,653,542円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2020	248,414,023円
合計	1,438,552,736円